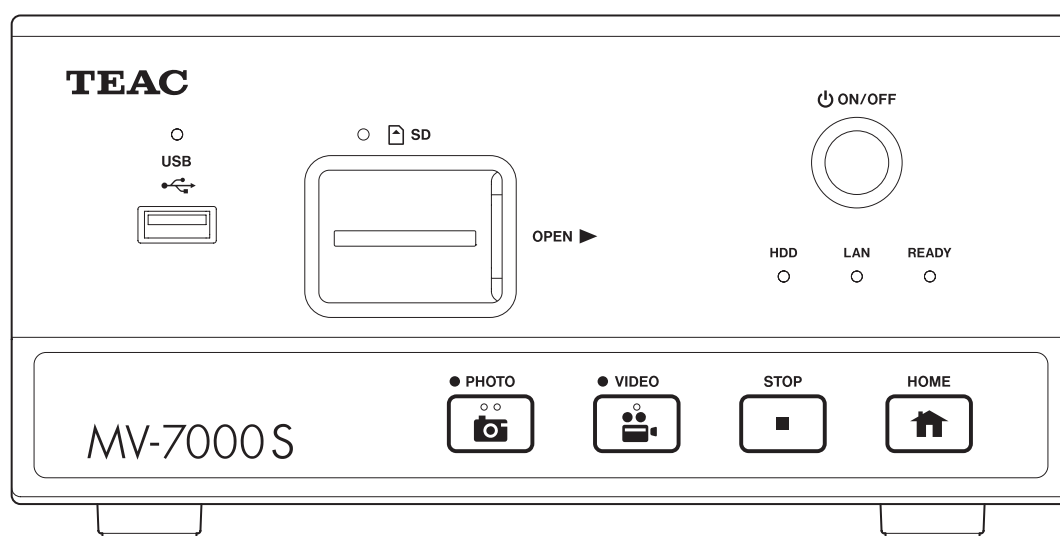


TEAC**取扱説明書**

MV-7000S

内視鏡イメージレコーダー

ティアック製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みください。
また、お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保
管してください。
末永くご愛用くださいますよう、お願い申し上げます。



はじめに

免責事項

ここに記載されております製品に関する情報、諸データは、あくまで一例を示すものであり、これらに關します第三者の知的財産権、およびその他の権利に對して、権利侵害がないことの保証を示すものではありません。従いまして、上記第三者の知的財産権の侵害の責任、又は、これらの製品の使用により発生する責任につきましては、弊社はその責を負いかねますのでご了承ください。

医療環境で使用する場合の注意事項（重要）

本装置に接続されるすべての設備は、IEC60601-1、IEC60950-1、IEC60065 規格、あるいは IEC/ISO 規格に適合した機器とすること。

この装置は、クラス A 技術情報装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

SDHC ロゴは、SD-3C, LLC の商標です。

Microsoft および Windows は 米 国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

その他、記載されている会社名、製品名、ロゴマークは各社の商標または登録商標です。

特徴

本機は内蔵 HDD を一次記憶媒体にし、テレビジョン信号を録画・再生する装置です。画像圧縮技術 JPEG を採用し効率よく録画しています。
画像保管には外部メディア (SD カード / USB メモリー / HDD) 若しくはネットワーク経由でのサーバー保管を行って下さい。

● 録画画像が劣化しません。

デジタル方式で録画しますので、何度再生しても録画されている画像は劣化しません。

● 各種信号を入力できます。

MV-7000S は NTSC 規格の RGB、コンポジット (VIDEO)、S-VIDEO 入力信号に対応しています。

● 4 種類の圧縮モードを選べます。

EQ (容量節約画質)、SQ (標準画質)、HQ (高画質)、TIFF (非圧縮) の 4 種類の圧縮モードが選べます。
※ TIFF 設定時、静止画は TIFF 画質になりますが、動画の画質は HQ となります。

● 便利なデータ管理情報を付加します。

付属のリモコンから画像データにつぎのような情報を付け加えて録画できます。これらの情報を手がかりにして画像をすばやく検索することができます。

- ・日時 : 録画した日時
- ・ID : 32 文字までの英数字
- ・名前 : 32 文字までの英数字、カナ
- ・生年月日 : 12 文字までの英数字
- ・性別 : 1 文字の英数字

● サムネール表示ができます。

1 つの画面にサムネール画像を表示して、その中から見たい画像を選ぶことができます。

● そのままパソコンで表示できます。

外部メディアに録画した画像は、外部メディアをパソコンに接続することで、パソコンで表示できます。

● パソコンで歪みなく表示できます。

画素が正方形になるように録画しますので、画像データをパソコンで表示したときに歪みがありません。

● 3 種類の信号を出力できます。

RGB、コンポジット (VIDEO)、S-VIDEO の 3 種類の信号を同時に出力します。

特徴

- 画像データを消去して再び録画できます。
再フォーマットすることにより、外部メディア上のデータをすべて消去し、そこに再び録画することができます。
- その他の便利な機能
 - ・ 画像を 1 枚ずつ順に再生できます。

本体に表示している記号について

前面（フロント）

記 号	機 能
 ON/OFF	電源を入 / 切するためのスイッチです。

背面（リア）

記 号	機 能
～IN	本体に電源を供給するためのコネクタです。 付属の電源コードを接続してください。
	等電位化端子です。 DIN 42801 に従ったコネクタをもつ等電位化ケーブルを接続してください。
	ネットワークに接続するためのコネクタです。
	映像信号を入力するためのコネクタです。
	映像信号を出力するためのコネクタです。

安全にお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の注意事項をよくお読みください。

 警告 以下の内容を見逃して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	
 電源プラグをコンセントから抜く	万一、異常が起きたら 煙が出たり、変なにおいや音がするときは 機器の内部に異物や水などが入ったときは この機器を落としたり、カバーを破損したときは すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。 異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。 販売店またはティアック修理センター（裏表紙に記載）に修理をご依頼ください。
 禁止	電源コードを傷つけない 電源コードの上に重いものをのせたり、コードを壁や棚との間に挟み込んだり、本機の下敷きにしない 電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、熱器具に近づけて加熱したりしない コードが傷んだまま使用すると火災・感電の原因となります。 万一、電源コードが破損したら（芯線の露出、断線など）、販売店またはティアック修理センター（裏表紙に記載）に交換をご依頼ください。
	付属の電源コードを他の機器に使用しない 故障、火災、感電の原因となります。
	交流 100 ボルト以外の電圧で使用しない この機器を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧（交流 100 ボルト）以外の電圧で使用しないでください。また、船舶などの直流 (DC) 電源には接続しないでください。火災・感電の原因となります。
	この機器を設置する場合は、放熱をよくするために、壁や他の機器との間は少し (20cm 以上) 離して置く ラックなどに入れるときは、機器の天面から 15cm 以上、背面から 10cm 以上のすきまをあける すきまをあけないと内部に熱がこもり、火災の原因となります。
	この機器の通風孔などから内部に金属類や燃えやすい物などを差し込んだり、落としたりしない 火災・感電の原因となります。
	この機器の通風孔をふさがない 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。
 指示	電源プラグにほこりをためない 電源プラグとコンセントの周りにゴミやほこりが付着すると、火災・感電の原因となります。 定期的（年 1 回くらい）に電源プラグを抜いて、乾いた布でゴミやほこりを取り除いてください。
 禁止	機器の上に花瓶や水などが入った容器を置かない 内部に水が入ると火災・感電の原因となります。



警告

以下の内容を見逃して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



分解禁止

この機器のカバーは絶対に外さない

カバーを開けたり改造すると、火災・感電の原因となります。
内部の点検・修理は販売店またはティアック修理センター（裏表紙に記載）にご依頼ください。

この機器を改造しない

火災・感電の原因となります。



注意

以下の内容を見逃して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



電源プラグ
をコンセント
から抜く

移動させる場合は、電源のスイッチを切るか、またはスタンバイにし、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続ケーブルを外す

ケーブルが傷つき、火災・感電の原因や、引っ掛けてけがの原因になることがあります

長期間この機器を使用しないときやお手入れの際は、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く

通電状態の放置やお手入れは、漏電や感電の原因となる場合があります。



指示

各種周辺機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する

また、接続は指定のケーブルを使用する

この機器はコンセントの近くに設置し、電源プラグは簡単に手が届くようにする

異常が起きた場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、完全に電源が切れるようにしてください。

この機器には、付属の電源コードを使用する

それ以外の物を使用すると、故障、火災、感電の原因となります。



禁止

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない

湿気やほこりの多い場所に置かない。

加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所に置かない

火災・感電やけがの原因となる場合があります。

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない

コードが傷つき、火災・感電の原因となる場合があります。

必ずプラグを持って抜いてください。



禁止

濡れた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となる場合があります。

目次

はじめに.....	2	外部メディア再生.....	27
特徴.....	2	再生のときに便利な機能.....	27
本体に表示している記号について.....	3	収録済み検査の患者情報を変更する.....	27
安全にお使いいただくために.....	4	転送する.....	28
お使いになる前に.....	7	全画像転送.....	28
付属品の確認.....	7	検査指定転送 / 検査指定コピー.....	28
使用上の注意.....	7	画像指定転送 / 画像指定コピー.....	29
HDD について.....	7	動画の 1 フレーム (コマ) を転送する.....	29
内蔵電池.....	7	画像参照.....	30
SD カードについて.....	8	過去画像参照.....	30
外部メディアについて.....	8	過去画像と入力画像を切り換える.....	31
内蔵ソフト「DVFinder」について.....	9	パソコンで画像を表示する.....	32
画像ファイルについて.....	10	必要なシステム.....	32
フロントパネル.....	11	DVFinder を起動する.....	32
リアパネル.....	12	設定操作.....	33
リモコン.....	14	設定項目一覧.....	34
電源を入れる前の準備.....	16	システム設定.....	35
入力ケーブルを接続する.....	16	画像設定.....	38
出力ケーブルを接続する.....	16	動画設定.....	39
リモコンを接続する.....	16	外部トリガ設定.....	41
電源ケーブルを接続する.....	16	患者情報設定.....	42
使ってみましょう.....	17	ネットワーク設定.....	44
SD カード確認.....	17	LAN 転送 / 外部収録設定.....	47
電源を入れる.....	17	カード、バーコード.....	51
外部メディア (SD カードまたは USB メモリー / HDD) をフォーマットする.....	18	メンテナンス.....	52
電源を切る.....	19	文字入力.....	54
SD カードを取り出す.....	19	文字の種類を選択する.....	54
録画前の準備.....	20	文字の入力.....	54
入力信号の選択.....	20	エラーメッセージ一覧.....	55
画質の設定.....	20	保守と保証.....	58
磁気カードリーダー / バーコードリーダーの設定.....	20	点検のすすめ.....	58
外部メディアのフォーマット.....	20	本体のクリーニング.....	58
録画する.....	20	故障かなと思ったら.....	58
患者 ID 入力.....	20	保証について.....	59
検査開始.....	21	廃棄するときは.....	59
静止画を録画する.....	21	仕様.....	60
動画を録画する.....	21	付録 A コネクターピン配列.....	61
検査終了.....	21	マイクロソフト ソフトウェア ライセンス条項.....	62
直前に撮った画像を見る.....	22		
検査中にビデオ入力を切り換える.....	23		
再生する.....	23		
収録検査一覧.....	24		
患者 ID 検索.....	24		
検査日付検索.....	25		
動画再生中の操作.....	26		

付属品の確認

万一、付属品に不足や損傷がありましたら、お買い上げになった販売店または弊社営業（裏表紙に記載）にご連絡ください。

リモートコントロールユニット (VS-7000)	1 台
RGB ケーブル (D-sub・D-sub)	2 本
RGB ケーブル (D-sub・4 線 BNC)	1 本
SD カード (本体 SD スロット挿入)	1 枚
電源コード	1 本
取扱説明書 (本書)	1 冊
ケーブルクランプ	1 個

使用上の注意

- **確実な動作のために下記の環境のもとでご使用ください。**

温度：5 ～ 35 ℃

湿度：30 ～ 80%RH (非結露)

最大湿球温度 29℃

- **水平に設置し、振動を避ける**

本製品はゴム足を下にして水平に設置してください。

- 直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が高くなるところに置かないでください。また、熱を発生する機器の上には置かないでください。変色や変形、故障の原因となります。

- 本機を移動したり、輸送などで梱包する場合は、全てのケーブル、デバイスを取り外してください。コネクタを損傷する恐れがあります。

- テレビ放送の電波状態により、本機の電源を入れたまま近くにあるテレビをつけると画面にしま模様が出現場合がありますが、本機やテレビの故障ではありません。このような場合は本機を十分にテレビから離してお使いください。

- 次のような場所で使用すると誤動作等の原因となることがありますので、さけてください。

- ・高周波を発生する機器の近く
- ・強力な磁気、静電気のあるところ

HDD について

本機は HDD (ハードディスクドライブ) を内蔵しています。HDD は衝撃や振動、温度など周囲の環境の変化を受けやすく、録画されている画像に影響を及ぼす可能性があります。

以下のことにご注意ください。

- ・振動、衝撃を与えないで下さい。
- ・水平な場所に置いてご使用下さい。
- ・HDD アクセス中に電源を切らないで下さい。

注意

内蔵 HDD に録画した内容の長期保管は保証できません。また、古い画像から自動削除します。大切な画像データは、LAN または外部メディア経由でパソコンや DVD などでの保管を推奨します。

注意

HDD には寿命があり、使用状態によっては数年で不良が発生する場合があります。録画または再生が出来なくなった場合は、ティアック修理センター（裏表紙に記載）に修理をご依頼ください。

内蔵電池

本機は内蔵の時計を動かすための電池を持っています。この電池が切れると正確な時刻保持ができなくなり、録画画像の時刻に影響があります。寿命が来る前に 5 年ごとに交換することをおすすめします。交換が必要になった際は、ティアック修理センター（裏表紙に記載）までご用命ください。

SD カードについて

SD カードのフォーマット（初期化）

本機で使用する SD カードは、画像録画前に本機でフォーマットしてください。パソコンでフォーマットした場合や未フォーマットの SD カードでは画像の録画はできません。（18 ページ）

SD カード用スライドドア

SD カードスロットには、異物・埃浸入防止の為スライドドアがあります。誤抜防止や誤動作防止の為に SD カードの抜き差し時以外は、ドアを閉めて下さい。

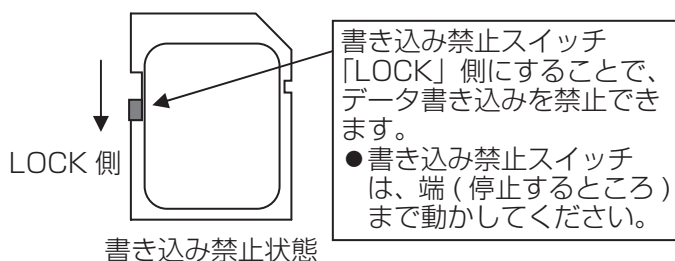
SD カードの抜き差し

SD カードを抜き差しする場合は、本機の電源を切ってから行ってください。
また SD カードには、ラベルを貼らないでください。本体内部に引っかかり、SD カードの挿抜が出来なくなる恐れがあります。

パソコンに入れるときは書き込み禁止に

本機で録画した SD カードをパソコンのカードスロットに入れる場合は、「書き込み禁止スイッチを『LOCK』側」にして書き込み禁止にしてください。尚、本機で録画する場合は「LOCK」を解除してください。

- SD カード内ファイルおよびファイル構造は編集しないで下さい。本装置で追記、再生が出来なくなる恐れがあります。



- パソコンの SD カードリーダーによっては容量の制限で読めない物もあります。使用しているカード容量にあったカードリーダーをご使用下さい。

録画画像保管

長期間画像を保管するには、パソコンや DVD などの保管を推奨します。

外部メディアについて

本書では、SD カード、USB メモリー、HDD のことを外部メディアと記載します。

動作確認メディアについて

当社、情報機器事業部のウェブサイトには、当社で動作確認済みの外部メディアが掲載されていますので、本機の仕様をご参照ください。

<http://teacmv.jp/products/>

または、裏表紙に記載の情報機器事業部 メディカルイメージングソリューション部 営業課までお問い合わせください。

SD カードについて

- 付属の SD カード以外を使用する場合は、上記動作確認メディアをご使用下さい。
- SD カードは新品を使用し、本機専用としてお使い下さい。（何度も上書き使用した場合、本機の性能が発揮できない事があります。）
- microSD カード、miniSD カードに変換アダプタを接続した SD カードの使用は避けてください。

USB メディアについて

本書では、USB メモリー、HDD のことを USB メディアと記載します。

- 外部に USB メモリー /HDD が接続可能です。録画する前に本機でフォーマットして下さい。
- デバイスの抜き差しは電源を切った状態で行ってください。
- 複数の USB メモリー /HDD を同時に接続しないでください。正常動作できません。
- 本機でフォーマットすると NTFS になります。

内蔵ソフト「DVFinder」について

本製品には画像録画したSDカードをパソコンのSDカードリーダー内で検索するためのWindowsアプリケーション「DVFinder」を内蔵しています。通常のアプリケーションはハードディスクにインストールして使いますが、このソフトはそれとは異なり、本製品でSDカードをフォーマットすると自動的にSDカードに書き込まれるようになっています。

このソフトウェアは、お客様が以下のソフトウェア使用契約の条件に同意されることを前提として、ティアック株式会社（以下、弊社といいます）よりご使用を許諾するものです。万一、同意いただけない場合は、製品一式を購入店へご返却ください。購入代金を返金させていただきます。

お客様が以下のソフトウェア使用契約の条件に違反されますと、弊社の権利を侵害することになり、以降のご使用の停止、また、損害賠償等の請求対象となりますことをご承知おきください。

ソフトウェア使用契約

1. 本契約は、お客様が本製品のご使用を開始したときから発効します。
2. お客様が本ソフトウェアを取得されたことは、本ソフトウェア契約に規定された以外に本ソフトウェアのいかなる権利、権原若しくは利権の取得を意味するものではありません。お客様は、本ソフトウェアが弊社に帰属する著作物として、「万国著作権条約」または「文学的および美術的著作物保護に関するベルヌ条約」の加盟国の著作権法に基づき保護されることをご認識ください。本ソフトウェアの著作権は、弊社に帰属しております。
3. (1) お客様は、本ソフトウェアをバックアップ以外の用途で複製することはできません。
(2) お客様は、本ソフトウェアを解析したり、コンパイラ言語やアセンブラ言語に変換することはできません。
(3) お客様は、本ソフトウェアを弊社の事前承諾なく、第三者に譲渡することはできません。

4. 弊社は、本ソフトウェアが所定の環境下において、弊社が明示した動作をすることは確認しておりますが、本ソフトウェアが、お客様の特定の使用目的に適合するか否か、また、本ソフトウェアの動作が中断しないことや誤りのないことを保証するものではありません。

5. 弊社は、本ソフトウェアの使用や使用不能から生じたいかなる損害（事業上の損失、営業の中断、営業上の情報の損失、その他の金銭上の損害など）についても責任を負いません。たとえその損害の可能性が弊社に事前に知らされていたとしても同様です。

上記契約に関してご不明な点などがございましたら弊社にお問い合わせください。

画像ファイルについて

本機では「検査開始」ボタンを押してから「ホーム」ボタンを押すまでを「検査」と定義します。1つの検査に対して1つの「検査フォルダ」(2階層目のフォルダ)が作られます。この検査フォルダに、それぞれの「検査」の間に録画した一連の画像ファイルが格納されます。

- 外部メディア 1枚あたりの最大検査数：9999
空き容量があっても上記最大検査数を超過して外部メディアへの収録はできません。
- 1検査内の最大録画数は5000枚です。さらに録画する場合は、次の検査に移行して録画してください。

外部メディア中のファイル構造は下図のようになります。

画像ファイル名

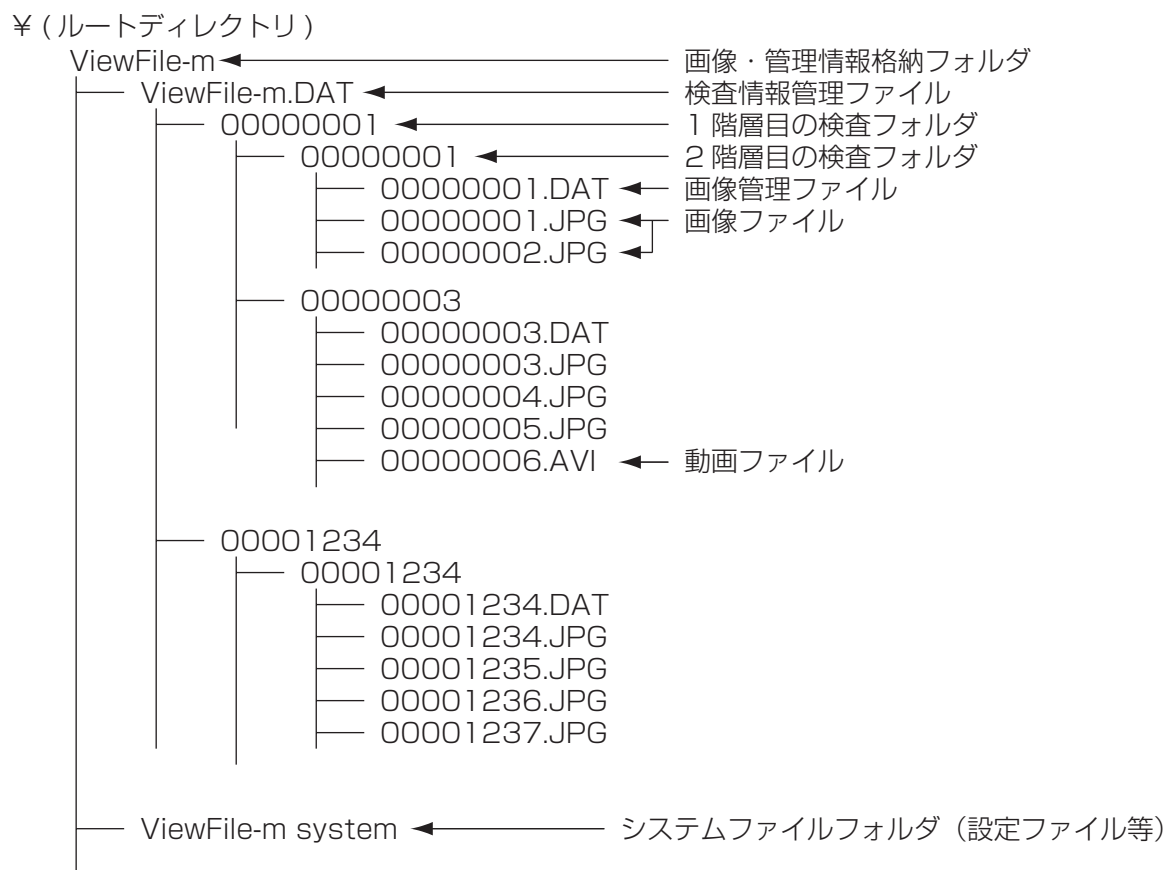
静止画像ファイル(.JPG)のファイル名は、検査フォルダの枠を超えて1枚のメディアの中で連番になります。たとえば、ある検査フォルダの最後の画像ファイルが「00000005.JPG」とすると、次の検査フォルダの最初の画像のファイル名は「00000006.JPG」になります。

動画画像ファイル(.AVI)も同様で、静止画像と混在した連番になり、録画順(開始時間)に番号が付けられます。

検査フォルダ名(2階層目のフォルダ名)

各検査フォルダのフォルダ名は、そのフォルダの最初の画像ファイル番号と同じになります。

なお、100検査毎(または、はじめての検査時)に、1階層目のフォルダが自動的にできます。このフォルダ名も、フォルダ内の最初の画像ファイル番号と同じになります。



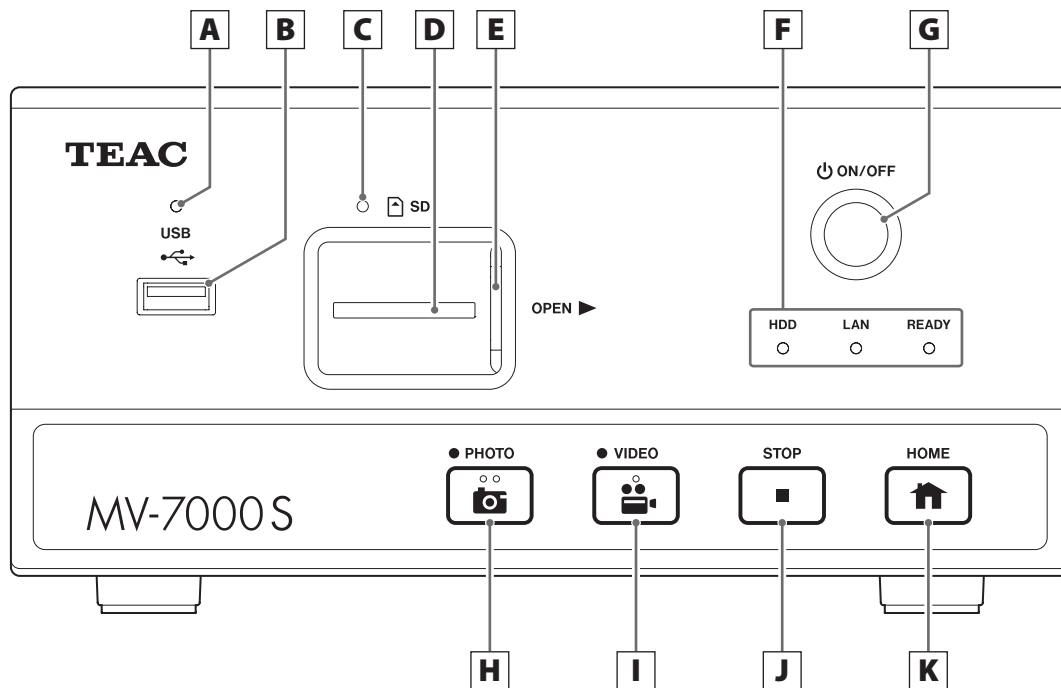
愛情点検

電源コードや本体に異常がないか、定期的に点検してください。

内部にほこりがたまったり、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。

1年に1度は、販売店またはティアック修理センター(裏表紙に記載)に内部の点検をご依頼ください。

費用についてはお問い合わせください。



A USB メディア アクセス表示 LED

USB メディアのアクセス状態を表します。
 消灯 : USB メディアなし、または保存対象外の
 場合 (USB メディア収録設定が OFF)
 緑点灯 : USB メディア待機中
 緑点滅 : USB メディア読み込み中
 橙点滅 : USB メディア書き込み中

B USB 端子

USB メモリー /HDD を接続します。
 ● USB メディアの抜き差しは、本機の電源を切っ
 た状態で行ってください。

C SD カード アクセス表示 LED

SD カードのアクセス状態を表します。
 消灯 : SD カードなし、または保存対象外の場
 合 (SD カード収録設定が OFF)
 緑点灯 : SD カードあり、待機中
 緑点滅 : SD カード読み込み中
 橙点滅 : SD カード書き込み中

D SD カードスロット

SD カードを挿入するスロットです。
 ● SD カードの抜き差しは、本機の電源を切った状
 態で行ってください。

E スライドドア

異物・埃浸入防止の為スライドドアです。誤抜防止
 や誤動作防止の為に SD カードの抜き差し時以外は、
 ドアを閉めて下さい。

F 状態表示 LED

本機の動作状態を表します。

起動中は全部橙色に点灯します。

HDD

緑点灯 : HDD 待機中
 緑点滅 : HDD 読み出し中 (外付 HDD を含む)
 橙点滅 : HDD 書き込み中 (外付 HDD を含む)
 赤点灯 : 装置異常

LAN(緑色の LED)

消灯 : ネットワークのリンク信号なし
 緑点灯 : ネットワークのリンク信号あり
 緑点滅 : ネットワークアクセス中

READY

消灯 : 収録不可状態
 緑点灯 : 収録可能状態
 赤点灯 : 装置異常

G 電源スイッチ

押すと電源がオンになります。もう一度押すと切れ
 ます。
 電源がオンになると青色に点灯します。

H 写真撮影ボタン (PHOTO)

検査中に押すと静止画を録画します。(21 ページ)
 静止画録画すると LED が橙点灯 (約 0.5 秒) します。

I 録画ボタン (VIDEO)

検査中に押すと動画の録画を開始します。(21
 ページ)
 動画録画中に LED が橙点灯します。

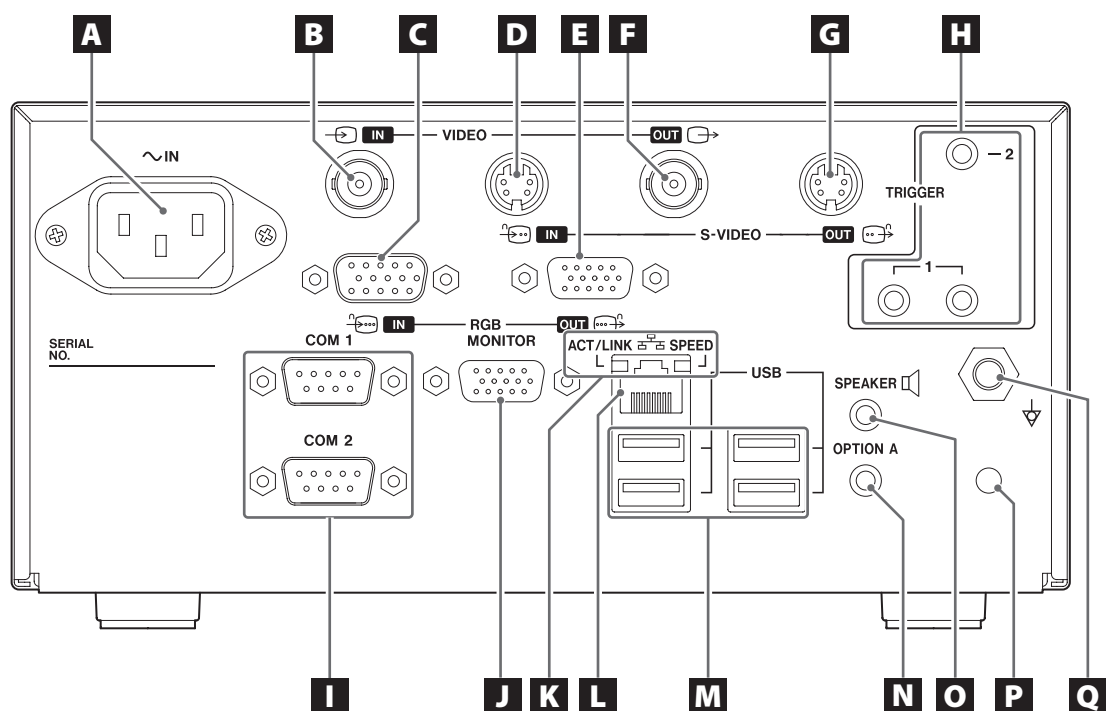
J 停止ボタン (STOP)

動画録画の停止を行います。

K ホームボタン (HOME)

検査 / 再生中に押すと検査 / 再生を終了し「IDLE」
 状態になります。

リアパネル



A 電源コネクタ

付属の電源コードを接続します。アース線は必ず接地してください。

B VIDEO 入力コネクタ (15pin D-sub)

VIDEO (NTSC) 信号を入力します。

C RGB 入力コネクタ (15pin D-sub)

RED, GREEN, BLUE, COMPOSITE-SYNC の 4 線式 RGB (NTSC) 信号を入力します。

D S-VIDEO 入力コネクタ (4pin DIN)

S-VIDEO (NTSC) 信号を入力します。

E RGB 出力コネクタ (15pin D-sub)

RED, GREEN, BLUE, COMPOSITE-SYNC の 4 線式 RGB (NTSC) 信号を出力します。

F VIDEO 出力コネクタ (15pin D-sub)

VIDEO (NTSC) 信号を出力します。

G S-VIDEO 出力コネクタ (4pin DIN)

S-VIDEO (NTSC) 信号を出力します。

H 外部トリガ用ジャック

外部接点スイッチ等を接続します。
(ステレオミニジャック)

I RS-232C コネクタ (COM1、COM2)

外部から本機をコントロールするときに使います。
詳細はお問い合わせください。

J MONITOR

この端子はサービス用途に限定されており、一般ユーザーはご使用になれません。(VGA)

K LAN ステータス LED

ACT/LINK

消灯 : LINK なし
 橙点灯 : LINK 中
 橙点滅 : データ送受信中

SPEED

橙点灯 : 100M speed
 緑点灯 : 1G speed
 消灯 : 10M speed

L LAN コネクタ ()

ネットワークに接続します。
 接続および設定は当該ネットワークの管理者の指示に従ってください。
 (100 Base-TX/1000 Base-T(RJ45))

M USB コネクタ

付属のリモコン VS-7000 を接続します。
 他にオプションのカードリーダー、バーコードリーダー、USB メディアを接続します。

N OPTION A コネクタ

この端子はサービス用途に限定されており、一般ユーザーはご使用になれません。

O SPEAKER コネクタ

スピーカを接続します。(ステレオミニジャック)

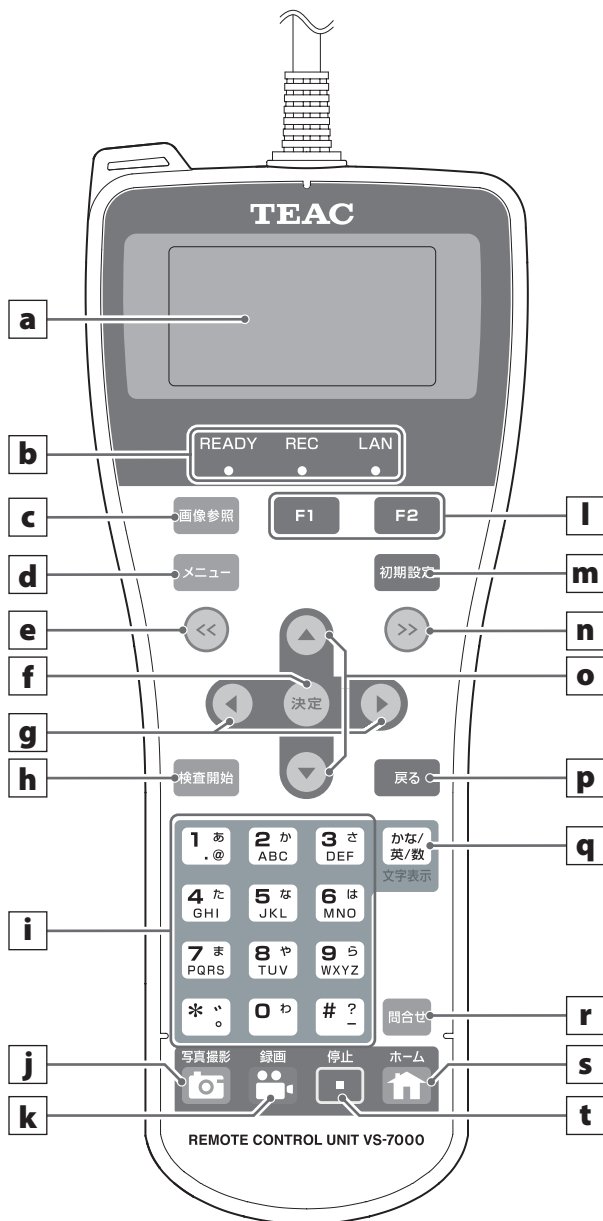
P ケーブルクランプ取り付け穴

付属のケーブルクランプを取り付けます。
 接続ケーブルのコネクタ部にストレスがかからないようにクランプしてください。

Q 等電位化端子 ()

DIN42801 に従ったコネクタを持つ等電位化ケーブルを接続してください。
 医療機器と組み合わせて使用される際は専用のケーブルで機器と機器を接続してください。

リモコン



出荷時のリモコンの表面には透明の保護シートが貼ってあります。
保護シートをはがしてお使いください。

a 表示器 (LCD)

各種状態を表示します。

b LED

READY

消灯 : 収録不可状態

緑点灯 : 収録可能状態

赤点灯 : 装置異常

REC

消灯 : 停止中

橙点灯 : 録画中 (静止画の場合、一瞬橙点灯)

LAN (緑色の LED)

消灯 : ネットワークのリンク信号なし

緑点灯 : ネットワークのリンク信号あり

緑点滅 : ネットワークアクセス中

c 画像参照ボタン

以前に録画した画像を表示するときに押します。
(30 ページ)

d メニューボタン

メニュー画面を表示します。(23 ページ)

- モニター画面右上に「MENU」アイコンが表示されているときに押すとサブメニュー画面が表示されます。

e << ボタン

26 ページを参照してください。

f 決定ボタン

メニューの選択や入力した文字を確定します。

g ◀、▶ ボタン

再生表示中に押すと前または次の動画を表示します。

h 検査開始ボタン

検査を開始するときに押します。(21 ページ)

i 数字ボタン

患者 ID の入力や設定値の入力に使用します。

j 写真撮影ボタン

検査中に押すと静止画を録画します。(21 ページ)

k 録画ボタン

検査中に押すと動画の録画を開始します。(21 ページ)

l ファンクションボタン (F1、F2)

メンテナンス用です。

m 初期設定ボタン

初期設定メニューが表示されます。(33 ページ)

n >> ボタン

26 ページを参照してください。

o ▲、▼ ボタン

メニュー画面を表示しているときカーソルを上下に移動させます。

p 戻るボタン

メニュー画面・再生画面表示中は一つ前の画面に戻ります。

患者情報文字入力中は 1 文字消去します。

q 文字ボタン

入力する文字の種類を選択します。

r 問合せボタン

患者情報の LAN 通信を行う場合に使用します。
別途専用サーバーが必要です。

s ホームボタン

検査中に押すと検査を終了し「IDLE」状態になります。

t 停止ボタン

動画録画を停止します。

電源を入れる前の準備

電源を入れる前に行う接続と設定について説明します。ここで説明する接続、設定が終わるまでは電源を入れないでください。

接続するのは、電源、リモコン、ビデオ入力、ビデオ出力です。

入力ケーブルを接続する

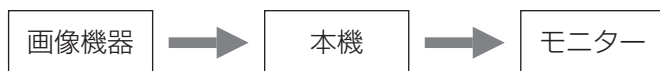
本機は S-VIDEO 入力端子、VIDEO 入力端子、RGB 入力端子の入力端子をもちます。使用する端子に入力ケーブルをつないでください。

出力ケーブルを接続する

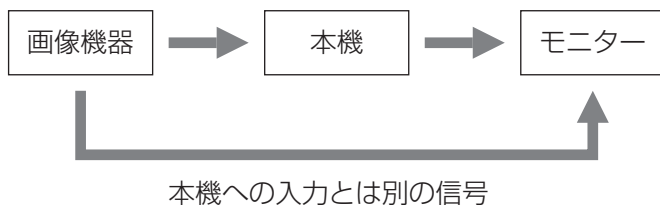
本機は S-VIDEO 出力端子、VIDEO 出力端子、RGB 出力端子の 3 つの NTSC 出力端子を持ちます。3 つの出力端子全てに同時に信号が出力されています。また、入力選択に関わらず、録画した画像を再生中にも 3 つの出力端子全てに同時に信号が出力されます。

- 電源を切っても画像が見られるようにするには
下図の接続例 1 では、本機の電源を切るとモニタで入力画像を見ることはできません。接続例 2 のようにつなぐと、本機の電源を切っても入力画像を見ることができます。

接続例 1



接続例 2



リモコンを接続する

注意

リモコン (VS-7000) の抜き差しをするときには本体の電源を切ってください。電源を入れたまま抜き差しすると本体またはリモコンが破損することがあります。

リモコンケーブル先端のプラグを本体リアパネルの USB 端子に差し込んでください。USB 端子は 4 個ありますがどこに差し込んでも動作します。

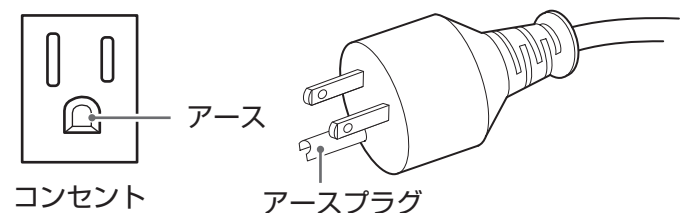
複数のリモコンを差し込むと破損する可能性があります。

電源ケーブルを接続する

注意

本機の電源は AC100V $\pm 10\%$ (50/60Hz) です。それ以外の電源を投入すると火災・感電の原因となります。感電事故を防ぐため、必ず絶縁トランスを使用してください。

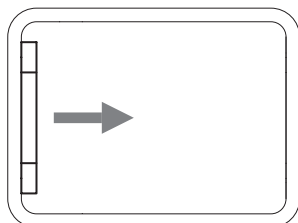
電源コードは 3 芯式です。安全のため 2 芯式コンセント（アースなし）には接続しないでください。



SD カード確認

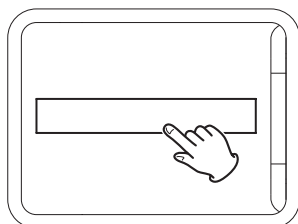
電源を入れる前に、付属の SD カードが正しく挿入されているか確認してください。

- 1** 前面パネルの SD カード用スライドドアを開ける。

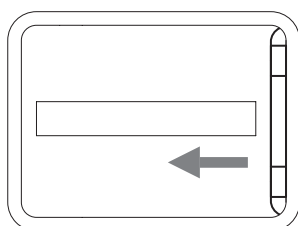


- 2** SD カードを押して SD カードを排出し、再び SD カードを押し込む。

奥まで押し込むと「カチッ」と音がします。



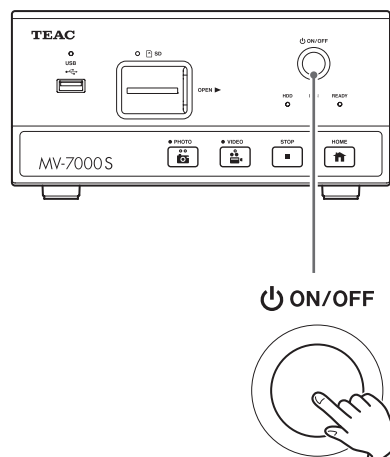
- 3** スライドドアを閉める。



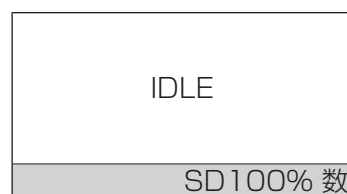
電源を入れる

モニタ、画像機器、本機の順に電源を入れてください。

前面パネルの電源スイッチを押します。



リモコン LCD に「IDLE」と表示されたら起動完了です。



- 約 30 ～ 40 秒で起動します。

外部メディア（SD カードまたは USB メモリー /HDD）をフォーマットする

1 電源投入後、IDLE 状態で「メニュー」ボタンを押す。

下記のメニューが表示されます。

メニュー	内蔵 HDD 再生
	SD カード再生
	USB メディア再生
	入力選択
	静止画画質選択
	動画画質選択
	メディアフォーマット
	シャットダウン

2 「▲」、「▼」ボタンで「メディアフォーマット」を選択し「決定」ボタンを押す。

サブメニューが表示されます。

メディアフォーマット
キャンセル
SD カード
USB メディア

3 「▲」、「▼」ボタンでフォーマットするメディアを選択し「決定」ボタンを押す。

サブメニューが表示され、OK を選択するとフォーマットを開始します。

数秒でフォーマットが終了します。

- 本装置のフォーマットは簡易フォーマットです。
物理的に全データエリアを消去したい場合は、パソコン等でフォーマットしてください。

注意

本装置で使用するメディアは、必ず本装置でフォーマットしてください。異なった機器でフォーマットしたものを使うと不具合の原因になります。

注意

フォーマットするとメディアに録画されているデータは全て消去されます。

電源を切る

- 1 リモコンの LCD 表示が「IDLE」でなければ「ホーム」ボタンを押す。

リモコンの LCD 表示が「IDLE」になります。

- 2 前面パネルの LAN/HDD/SD/USB の各 LED が点滅していないことを確認して電源スイッチを押す。

- LAN/HDD/SD/USB の各 LED が点滅しているときはアクセス中を示します。(12 ページ)
点滅しなくなるまで待ってください。

注意

電源を切った後に再度電源を入れる場合は、約 20 秒待ってから、電源を入れてください。
(20 秒以上、電源切状態を保持して下さい)

注意

リモコン LCD が「IDLE」表示であっても、前面パネルの LAN/HDD/SD/USB の各 LED が点滅中は内部で処理を行っています。
この状態で電源を切るとデータ破壊、故障の恐れがあります。

下記手順を実施すれば、LED の点滅詳細など確認せずに安心して電源を切る事ができます。

リモコンの LCD 表示を「IDLE」にしてから、

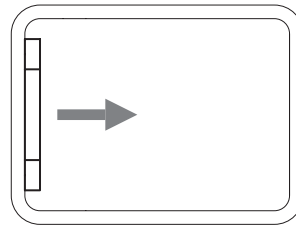
1. リモコンの「メニュー」ボタンを押す。
2. メニューの「シャットダウン」を選択し「決定」ボタンを押す。
3. 「実行」を選択し「決定」ボタンを押す。
4. ON/OFF LED 以外が消灯するまで待つ
5. 電源ボタンを押す。

SD カードを取り出す

- 1 電源を切る。

「電源を切る」の手順に従って電源を切ってください。

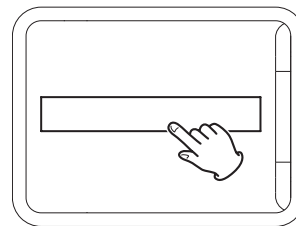
- 2 前面パネルの SD カード用スライドドアを開ける。



- 3 SD カードを取り出す。

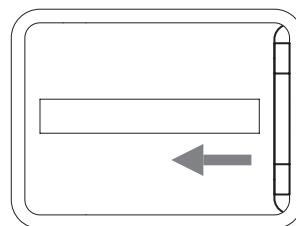
SD カードをいったん押し込むと、戻りますので取り出します。

奥まで押し込むと「カチッ」と音がします。



交換する場合は、使用する SD カードを挿入します。

- 4 スライドドアを閉める。



注意

電源が入ったまま（特に書き込み中）SD カードを抜くとデータが破壊され、そのデータが使えなくなることがあります。前項の手順で電源を切ってから取り出して下さい。

録画前の準備

録画の前に以下の項目を設定してください。

入力信号の選択

S-VIDEO、VIDEO、RGB の、どのビデオ信号を録画するかを選択します。(38 ページ)

- 選択した信号が本機に入力されていない状態で録画操作をすると「映像入力がありません」が表示され、画像を録画することができません。

画質の設定

EQ(容量節約画質)、SQ(標準画質)、HQ(高画質)、TIFF(非圧縮＝最高画質)から、録画時の画質を選択します。

ただし、TIFF 設定時、静止画は TIFF 画質になりますが、動画の画質は HQ 画質となります。

磁気カードリーダー / バーコードリーダーの設定

患者情報を入力する為に磁気カードリーダー / バーコードリーダー (オプション) を使用して操作量を軽減することができます。

使用する磁気カードやバーコードに応じた設定を行う必要があります。(51 ページ)

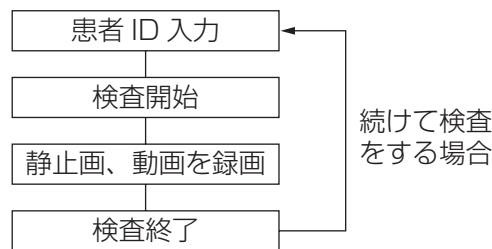
外部メディアのフォーマット

本機で使用する外部メディアは、録画前に一度本機でフォーマットする必要があります。フォーマットすると外部メディアに録画されているデータがある場合は全て削除されます。

未フォーマットの外部メディアには画像を録画することができません。(18 ページ)

録画する

以下の手順で作業をします。



患者 ID 入力

1 リモコンの表示が「IDLE」であることを確認する。

「IDLE」が表示されていないときは「ホーム」ボタンを押します。

2 リモコンの数字ボタン (0～9、*、#) のどれかを押す。

「患者 ID 入力画面」が表示されます。
必要な患者情報を入力してください。(54 ページ)

ID	123
名前	
生年月日	
性別	
検査部位	

検査開始

「検査開始」ボタンを押すと「検査状態」になります。

- 患者 ID が入力されていない場合、仮 ID として「\$ 年月日時分秒」の患者 ID が使用されます。

例 2012 年 01 月 23 日 14 時 25 分 40 秒の場合
\$20120123142540

静止画を録画する

「写真撮影」ボタンを押すたびに同じ ID で連番が異なる画像が録画できます。連番は 1 から始まり 5000 までです。5000 枚以上録画出来ません。さらに録画する場合は、次の検査に移行して録画してください。(10 ページ)

異なる ID で録画したいときは「ホーム」ボタンを押していったん IDLE 状態に戻り、ID を入力してください。

また、「動画録画状態」でも「写真撮影」ボタンを押すと静止画を録画できます。

- 「外部トリガ設定」で外部接点に静止画録画を割り当てると、その接点トリガにより静止画録画ができます。

動画を録画する

「検査状態」で「録画」ボタンを押すと、動画録画が始まります。「動画録画状態」で「停止」ボタンを押すと、動画録画が停止します。

- 本装置の動画録画は、短時間動画を目的としております。長く録画しますと圧縮方式の関係で、ファイル容量が大きくなりますのでご注意ください。
(「動画設定」の「最大動画録画時間」もご確認ください)
- 動画録画するには、「動画設定」で「動画録画」を ON にする必要があります。(39 ページ)
- 「外部トリガ設定」で外部接点に動画録画のスタート / ストップを割り当てると、そのトリガにより制御できます。

参考

- 1 検査内の最大録画数は 5000 枚です。さらに録画する場合は、次の検査に移行して録画してください。
- 内蔵 HDD 内の画像について
内蔵 HDD 内は複数パーティションに分けて使われます。
古いパーティションから順に消され、上書きされます。従って画像を長期に保管するには、パソコン等外部の記憶装置をご使用下さい。

検査終了

「ホーム」ボタンを押すと検査を終了し、「IDLE」状態になります。

この時点で前の患者情報はクリアされます。

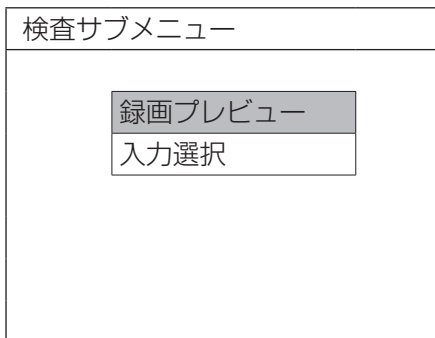
- 動画録画中に上記操作を行った場合、動画録画を停止して検査を終了します。

直前に撮った画像を見る

検査中に、直前にとった画像（同一検査内）を確認することができます。検査開始後に 1 枚も録画していない場合は動作しません。

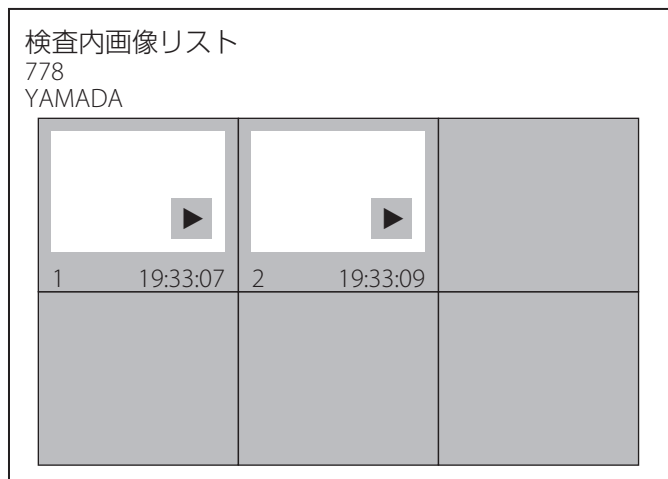
1 「メニュー」 ボタンを押す。

検査サブメニューが表示されます。



2 カーソルを「録画プレビュー」に移動させ、「決定」 ボタンを押す。

検査内画像のサムネイルが表示されます。



3 表示したい画像にカーソルを移動させ「決定」 ボタンを押す。

全画面表示します。



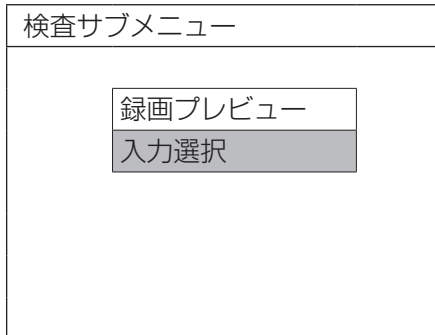
全画面再生状態から「戻る」ボタンでサムネイル表示に戻ります。

サムネイル表示状態で「戻る」ボタンを押すと検査に戻り、収録可能状態になります。

検査中にビデオ入力を切り換える

1 「メニュー」 ボタンを押す。

検査サブメニューが表示されます。

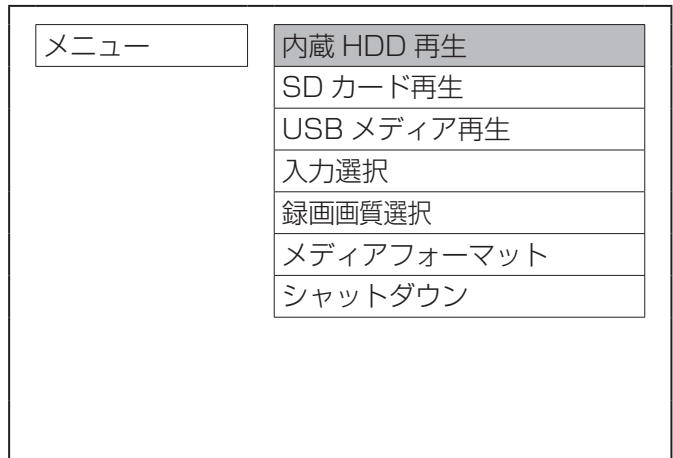


2 カーソルを「入力選択」に移動させ、「決定」ボタンを押す。

入力選択画面が表示されます。

選択項目については 38 ページの「入力選択」を参照してください。

「IDLE」状態から「メニュー」ボタンを押すと、下記メニューが表示されます。



- 内蔵 HDD の録画データは、順番に上書きされます。
内蔵 HDD 内に存在しない画像を再生したい場合は、SD カードなどの外部メディアでの収録を行って、再生を行ってください。
- 「入力選択」については 38 ページを参照してください。
- 「録画画質選択」については 38 ページを参照してください。
- 「メディアフォーマット」については 18 ページを参照してください。

カーソルを「内蔵 HDD 再生」に移動して「決定」ボタンを押すと内蔵 HDD 内の収録検査一覧が表示されます。

収録検査一覧

収録検査が最新順に表示されます。

収録検査一覧 患者 ID 検索⇒文字入力		
1	778 YAMADA	2011/10/06 19:32:50
2	ID56677 SATO	2011/10/06 18:36:22
3	ID56679 TANAKA	2011/10/06 18:31:52
4	ID58663 SUZUKI	2011/10/06 18:16:47
5	ID76783 NAGASIMA	2011/10/06 16:50:37
6	ID8877 HARA	2011/10/06 15:19:54
7	ID66778 KAWASAKI	2011/10/06 14:59:38

患者情報

検査日時

検査内の 1 枚目の画像

検査の先頭画像のサムネイルが左側に表示されます。
「▲」、「▼」ボタンで選択する検査の移動を行います。

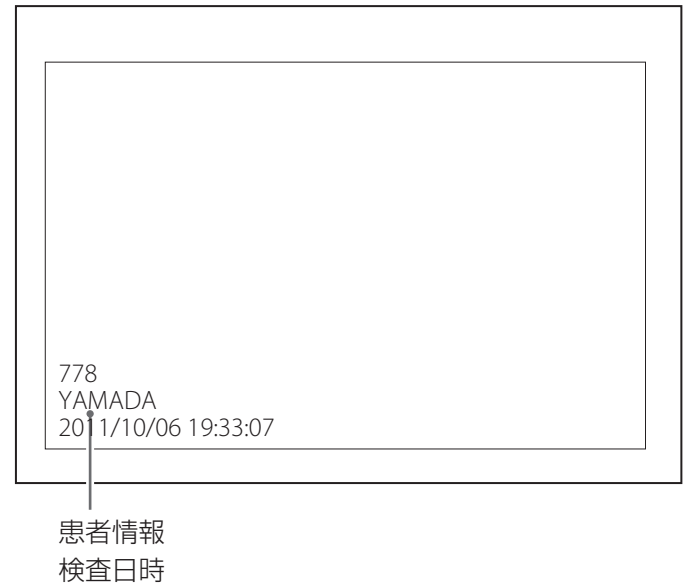
「決定」ボタンで当該検査内の画像のサムネイル表示になります。

患者情報

検査内画像リスト		
778 YAMADA		
1	19:33:07	2
	19:33:09	

- 動画のサムネイルには、右下に「▶」マークが付きます。

「▲」、「▼」、「▶」、「◀」ボタンで画像を選択し、「決定」ボタンで全画面再生します。



- 「◀」、「▶」ボタンで同一検査内の画像が切り換ります。

患者 ID 検索

「収録検査一覧」画面を表示させて以下の操作をします。
(23 ページ)

「>>」ボタンで「患者 ID 検索」「検査日付検索」の機能が順に切り換わります。「患者 ID 検索」にして下記操作を行います。

1 カーソルを「▲」、「▼」ボタンで「患者 ID 検索」に移動させる。

または、リモコンから文字を入力するとカーソルが自動で「患者 ID 検索」に移動します。

2 リモコンから検索する ID を入力する。

右上の患者 ID 検索欄に入力された文字が表示されます。

- 先頭に「*」を付けると後方一致、最後に「*」を付けると前方一致の検索を行い、該当検査を表示します。「*」が無い時は完全一致の検索になります。

収録検査一覧

患者 ID 検索⇒文字入力

ID5

1	778 YAMADA	2011/10/06 19:32:50
2	ID56677 SATO	2011/10/06 18:36:22
3	ID56679 TANAKA	2011/10/06 18:31:52
4	ID58663 SUZUKI	2011/10/06 18:16:47
5	ID76783 NAGASIMA	2011/10/06 16:50:37
6	ID8877 HARA	2011/10/06 15:19:54
7	ID66778 KAWASAKI	2011/10/06 14:59:38

3 「決定」 ボタンを押す。

検索条件に一致した検査一覧が表示されます。

収録検査一覧

患者 ID 検索⇒文字入力

ID5

1	ID56677 SATO	2011/10/06 18:36:22
2	ID56679 TANAKA	2011/10/06 18:31:52
3	ID58663 SUZUKI	2011/10/06 18:16:47

4 「▲」、「▼」 ボタンで再生表示したい検査を選択し、「決定」 ボタンを押す。

当該検査内画像のサムネイルが表示されます。

- 「戻る」 ボタンを押すと、ひとつ前の画面に戻ります。

検査日付検索

「収録検査一覧」 画面を表示させて以下の操作をします。
(24 ページ)

「>>」 ボタンで「患者 ID 検索」「検査日付検索」の機能が順に切り換わります。

「検査日付検索」にして下記操作を行います。

1 カーソルを「▲」、「▼」 ボタンで「検査日付検索」に移動させる。**2 リモコンから検索する日付を入力する。**

右上の日付入力欄に検査したい日付を入力します。

収録検査一覧

検査日付検索⇒文字入力

2012/08/27

1	778 YAMADA	2012/08/29 19:32:50
2	ID56677 SATO	2012/08/29 18:36:22
3	ID56679 TANAKA	2012/08/29 18:31:52
4	ID58663 SUZUKI	2012/08/27 18:16:47
5	ID76783 NAGASIMA	2012/08/27 16:50:37
6	ID8877 HARA	2012/08/27 15:19:54
7	ID66778 KAWASAKI	2012/08/27 14:59:38

3 「決定」 ボタンを押す。

当該日の検査リストを表示します。

収録検査一覧

検査日付検索⇒文字入力

2012/08/27

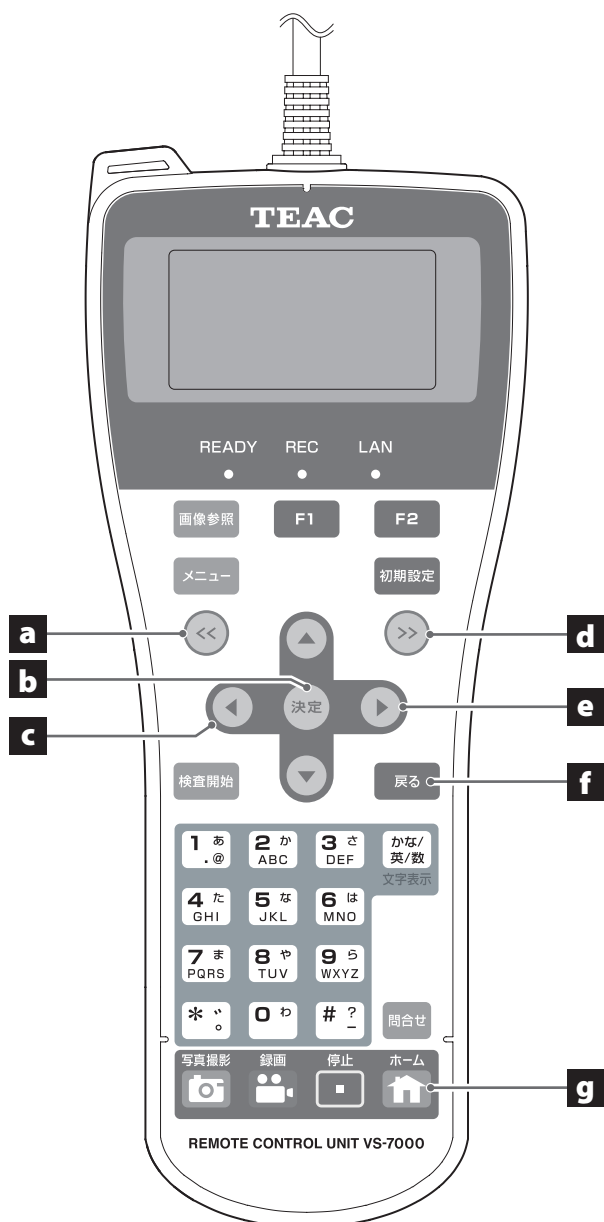
1	ID58663 SUZUKI	2012/08/27 18:16:47
2	ID76783 NAGASIMA	2012/08/27 16:50:37
3	ID8877 HARA	2012/08/27 15:19:54
4	ID66778 KAWASAKI	2012/08/27 14:59:38

4 「▲」、「▼」 ボタンで再生表示したい検査に移動させ、「決定」 ボタンを押す。

当該検査内画像のサムネイルが表示されます。

動画再生中の操作

下記のリモコンボタンを使用して再生操作をします。



a << ボタン

再生中

再生速度が逆方向に +1 倍されます。正方向 1 倍速再生中は逆方向再生になります。

一時停止中

逆方向へ 1 コマ送ります。

b 決定ボタン

再生中

一時停止

一時停止中

正方向再生

c < ボタン

再生中

何もしない

一時停止中

前の画像へ

d >> ボタン

再生中

再生速度が正方向に +1 倍されます。逆方向 1 倍速再生中は正方向再生になります。

一時停止中

正方向へ 1 コマ送ります。

e > ボタン

再生中

何もしない

一時停止中

次の画像へ

f 戻るボタン

再生を終了して一つ前の画面に戻ります。

g ホームボタン

「IDLE」状態になります。

外部メディア再生

「IDLE」状態から「メニュー」ボタンを押すと、下記メニューが表示されます。

メニュー	内蔵 HDD 再生
	SD カード再生
	USB メディア再生
	入力選択
	録画画質選択
	メディアフォーマット
	シャットダウン

カーソルを「SD カード再生」または、「USB メディア再生」に移動させ「決定」ボタンを押すと SD カードまたは USB メディア内の収録検査一覧が表示されます。各メニューの操作は「内蔵 HDD 再生」と同様です。(23 ページ)

「内蔵 HDD 再生」の「収録検査一覧」を参照してください。

再生のときに便利な機能

収録済み検査の患者情報を変更する

収録済み検査の患者情報を変更することができます。

- 1** 収録検査一覧画面でカーソルを変更する検査に移動させ「メニュー」ボタンを押す。(24 ページ)

収録検査一覧 患者 ID 検索⇒文字入力		
1	778 YAMADA	2011/10/06 19:32:50
2	ID56677 SATOU	2011/10/06 18:36:22
3	ID56679 TANAKA	2011/10/06 18:31:52
4	ID58663 SUZUKI	2011/10/06 18:16:47
5	ID76783 NAGASIMA	2011/10/06 16:50:37
6	ID8877 HARA	2011/10/06 15:19:54
7	ID66778 KAWASAKI	2011/10/06 14:59:38

検査サブメニューが表示されます。

- 2** カーソルを「検査情報編集」に移動させ、「決定」ボタンを押す。

検査サブメニュー
検査情報編集
ネットワーク手動転送
SD 手動コピー
USB メディア手動コピー

患者情報編集画面が表示されます。

3 患者情報を変更し、「決定」ボタンを押す。

ID	ID56677
名前	SATOU
生年月日	
性別	
検査部位	

- 「<<」ボタンで入力されている文字をクリアします。
- 「ホーム」ボタンでひとつ前の画面に戻ります。
- 「決定」ボタンで確定します。

転送する

全画像転送

画像データは LAN 自動転送設定 (47 ページ) を ON にすると録画後に自動でネットワーク転送を行います。動画データは LAN 動画サイズ設定 (48 ページ) で転送するサイズに制限をかける事ができます。

検査指定転送 / 検査指定コピー

1 収録検査一覧画面でカーソルを対象検査に移動させ「メニュー」ボタンを押す。(24 ページ)

収録検査一覧

患者 ID 検索⇒文字入力

1	778	YAMADA	2011/10/06 19:32:50
2	ID56677	SATOU	2011/10/06 18:36:22
3	ID56679	TANAKA	2011/10/06 18:31:52
4	ID58663	SUZUKI	2011/10/06 18:16:47
5	ID76783	NAGASIMA	2011/10/06 16:50:37
6	ID8877	HARA	2011/10/06 15:19:54
7	ID66778	KAWASAKI	2011/10/06 14:59:38

検査サブメニューが表示されます。

2 カーソルを「ネットワーク手動転送」、「SD 手動コピー」または「USB メディア手動コピー」に移動させ、「決定」ボタンを押す。

検査サブメニュー

検査情報編集
ネットワーク手動転送
SD 手動コピー
USB メディア手動コピー

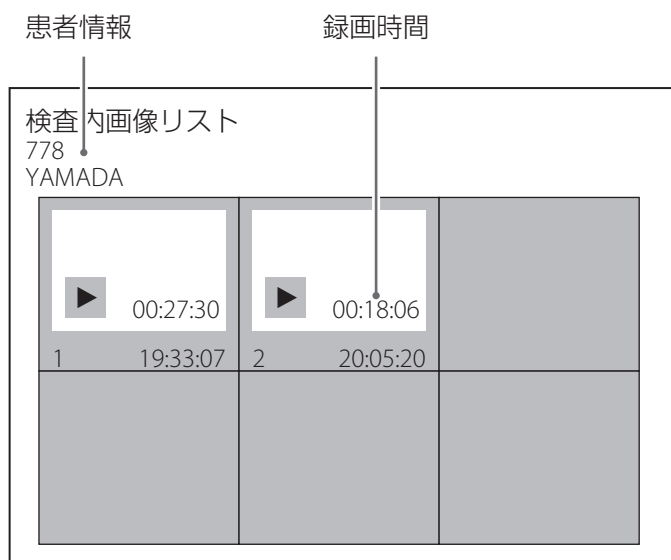
画像転送または SD、USB メディアコピーが実行されます。

コピーが終了すると「収録検査一覧画面」に戻ります。

- 「戻る」ボタンでひとつ前の画面に戻ります。

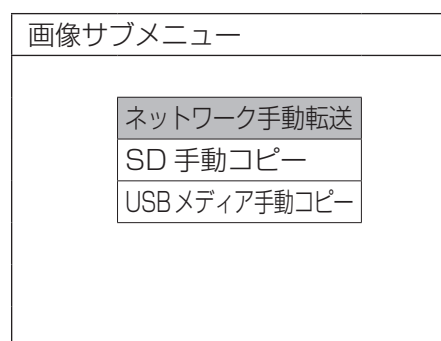
画像指定転送 / 画像指定コピー

- 1 検査内画像のサムネイル画面でカーソルを対象検査に移動させ「メニュー」ボタンを押す。(24 ページ)



検査サブメニューが表示されます。

- 2 カーソルを「ネットワーク手動転送」、「SD 手動コピー」または「USB メディア手動コピー」に移動させ、「決定」ボタンを押す。



画像転送または SD、USB メディアコピーが実行されます。

コピーが終了すると検査内画像の「サムネイル画面」に戻ります。

- 「戻る」ボタンでひとつ前の画面に戻ります。

動画の 1 フレーム (コマ) を転送する

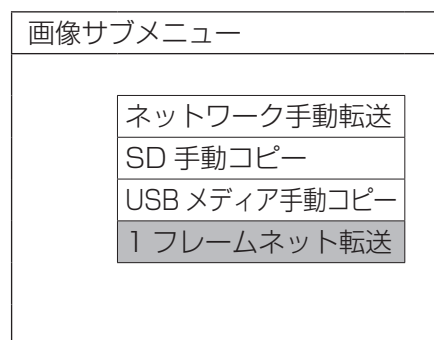
動画収録後に動画の 1 フレーム (コマ) を静止画としてネットワーク転送することができます。

- 1 動画を再生する。

動画の再生方法については、23 ページの「再生する」を参照してください。

- 2 転送したい画像で一時停止する。

- 3 メニューボタンを押す。



- 4 「1 フレームネット転送」を選択し、「決定」ボタンを押す。

表示している 1 フレーム画像 (JPEG) をネットワーク転送します。

画像参照

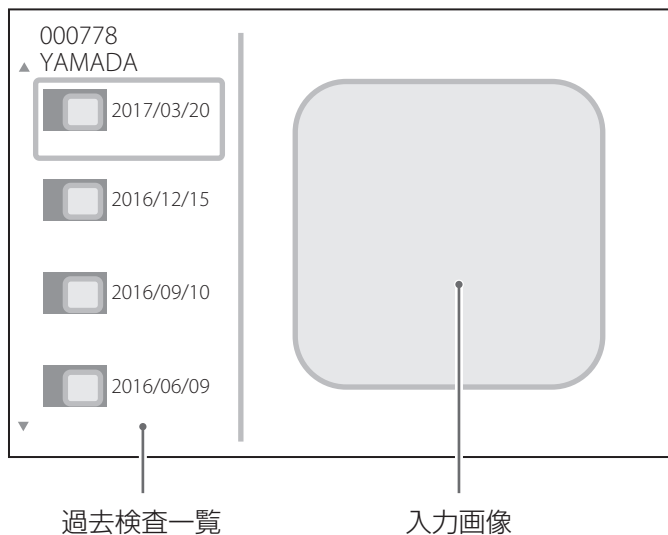
検査開始後または検査中に過去画像（収録済み画像）を検索表示させ、現在の入力画像と比較できます。

- 検索対象は現在の検査と同じ患者 ID です。
- 過去画像の検索場所（参照先）はあらかじめ設定してください。設定は、37 ページの「過去画像参照先」を参照してください。
- 画像参照の対象は、静止画のみで、動画は対象外です。

過去画像参照

1 「画像参照」 ボタンを押す。

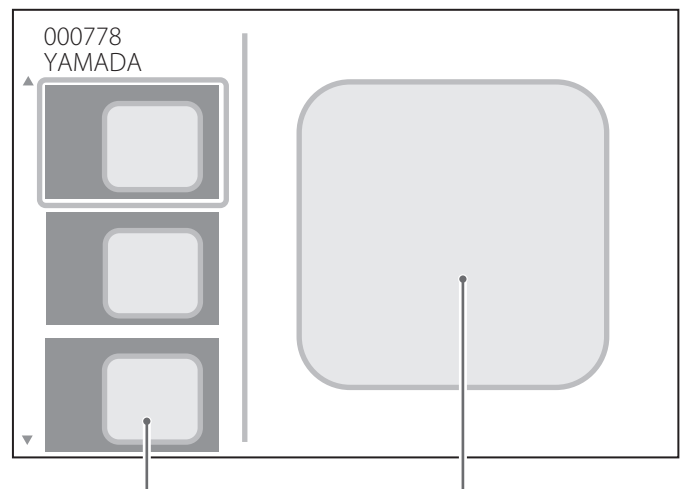
現在の検査と同じ患者 ID の過去検査一覧を画面左側に表示します。



2 「▲」、「▼」 ボタンで表示させたい検査（日付）を選択する。

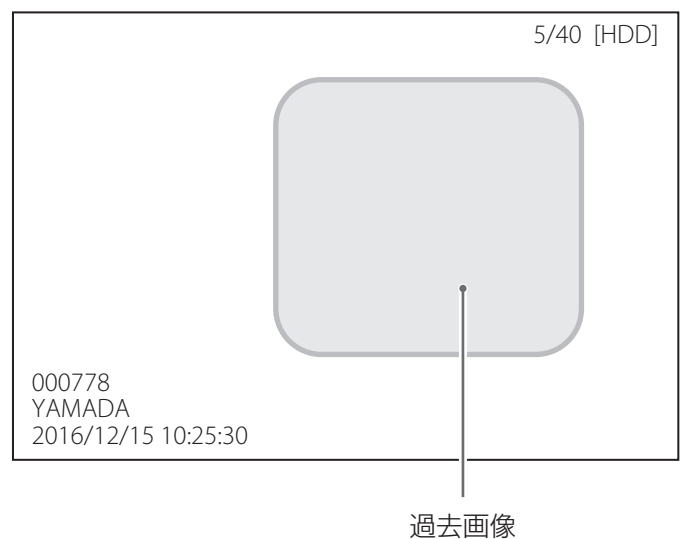
3 「決定」 ボタンを押す。

選択した日付の画像サムネールを画面左側に表示します。



4 「▲」、「▼」 ボタンでカーソルを移動し、「決定」 ボタンを押す。

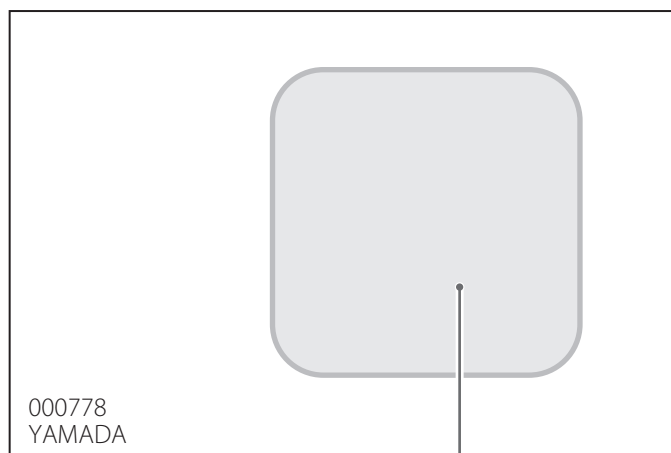
選択した画像が全画面表示になります。



「◀」ボタンで前、「▶」ボタンで次の過去画像を表示します。

過去画像と入力画像を切り換える

「決定」ボタンを押すごとに、入力画像表示と過去画像表示が切り換わります。



入力画像

パソコンで画像を表示する

本機で外部メディアをフォーマットすると検索ソフトウェア「DVFinder」が書き込まれます。(9 ページ)
この「DVFinder」により、本機で録画した外部メディアをパソコンに接続して検索することができます。

必要なシステム

OS : Windows 7
Windows 8
Windows 10

メモリー : 2GB 以上

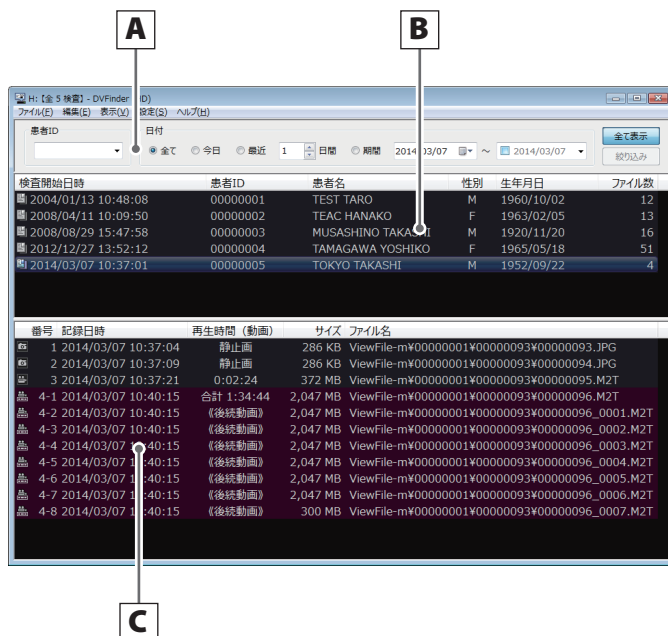
ディスプレイ : 解像度 1024×768 以上

DVFinder を起動する

MV-7000S で録画した外部メディアをパソコンに接続します。

メディアの中の、DVFinder.exe をダブルクリックすると、DVFinder が起動します。

- SD カードは書き込み禁止にしてからパソコンに挿入してください。



A 表示検査の絞り込み

患者 ID と日付 (期間) の組み合わせにより、表示する検査を絞り込むことができます。

B 検査リスト

メディアに記録されている検査の一覧を表示します。検査をダブルクリックすると、その検査が保存されているフォルダをエクスプローラで開きます。

- フォルダ名 / ファイル名の変更や削除はしないでください。MV 本体や DVFinder で検査を認識できなくなり、そのメディアは二度と使用できなくなってしまう。

検査リスト右クリックメニュー

検査フォルダを開く(F)
名前を付けて保存(S)...

C ファイルリスト

選択した検査に含まれる静止画／動画の一覧を表示します。

静止画をダブルクリックすると、システムで関連付けられているアプリケーションを起動して表示します。動画をダブルクリックすると、設定に従い動画プレイヤーアプリケーションを起動して再生します。

ファイルリスト右クリックメニュー

関連付けられたアプリケーションで開く(O)
ViewFile Movie Playerで開く(M) Enter
アプリケーションを指定して開く(P) ...
名前を付けて保存(S) ...
分割動画を結合して保存(C) ...
全て選択(A) Ctrl+A

アイコン表示

- 静止画
- 動画
- 分割動画

詳細は、「メニューバーのヘルプ→取扱説明書」を参照してください。

また動画を再生する場合、本機に内蔵の動画再生ソフトウェア ViewFile Movie Player で再生する事が可能です。

操作の詳細は、「メニューバーのヘルプ→取扱説明書」を参照してください。

1 電源投入後、IDLE 状態で「初期設定」ボタンを押す。

モニタ、リモコン LCD に設定項目が表示されます。

初期設定	システム設定
	画像設定
	動画設定
	外部トリガ設定
	患者情報設定
	ネットワーク設定
	LAN 転送 /SD 収録設定
	カード・バーコード
	メンテナンス

- 元の画面に戻るには、「戻る」ボタンを押します。

2 「▲」、「▼」ボタンで設定項目を選択し「決定」ボタンを押す。

サブメニューが表示されます。

例

初期設定	入力選択
画像設定	録画画質選択
	VIDEO 終端
	RGB 終端
	アイドル画像スルー

- 一つ前の画面に戻るには「戻る」ボタンを押します。

3 「▲」、「▼」ボタン設定項目を選択し「決定」ボタンを押す。

4 設定・選択メニューの設定値を選択又は数字を入力して「決定」ボタンを押して確定する。

設定を変更せずに前の画面に戻るには、「戻る」ボタンを押します。

例

録画画質選択
EQ
SQ
HQ
TIFF

5 「ホーム」ボタンを押すと初期設定画面から抜けます。

設定項目一覧

システム設定	35	LAN 自動転送設定	47
時刻設定	35	転送する画像の選択	47
本体ブザー	35	SD カード収録設定	48
本体ブザー音量	35	USB メディア収録設定	48
リモコンブザー	36	LAN 動画サイズ	48
OSD 初期表示	36	SD 動画サイズ	49
COM1 通信モード	36	USB メディア動画サイズ	49
COM1 通信ボーレート	36	外部保存警告容量	50
過去画像参照先	37	カード、バーコード	51
画像設定	38	ID 文字範囲	51
入力選択	38	名前文字範囲	51
録画画質選択	38	生年月日文字範囲	51
VIDEO 終端	38	メンテナンス	52
アイドル画像スルー	39	設定保存・反映	52
動画設定	39	性別文字位置	52
動画録画	39	リファレンス ID 文字範囲	52
最大動画録画時間	40	設定初期化	53
PRE 録画時間	40	内蔵 HDD フォーマット	53
POST 録画時間	40	ログ保存	53
最大時間録画後動作	40	オプションソフト保存	53
外部トリガ設定	41	直近警告表示	53
EXT SW1 L	41		
EXT SW1 R	41		
EXT SW2 L	41		
EXT SW2 R	41		
患者情報設定	42		
患者リスト表示	42		
患者リスト保管	42		
患者リスト有効期限	42		
患者リスト自動取得	43		
リファレンス ID	43		
リファレンス ID コピー	43		
ID 桁数指定	43		
ネットワーク設定	44		
装置名称	44		
IP 取得	44		
IP アドレス	45		
サブネットマスク	45		
デフォルトゲートウェイ	45		
NTP 時刻同期	45		
画像サーバーアドレス	45		
画像サーバーポート番号	46		
本体制御ポート番号	46		
制御サーバーアドレス	46		
制御サーバーポート番号	46		
画像参照サーバーポート番号	46		
LAN 転送 / 外部収録設定	47		

- 各設定画面を開いた時のカーソル位置が現在の設定値です。

「IDLE」状態から「初期設定」ボタンを押してメニューを表示させます。(33 ページ)

「システム設定」を選択し「決定」ボタンを押すと下記画面になります。

初期設定	時刻設定
システム設定	本体ブザー
	本体ブザー音量
	リモコンブザー
	OSD 初期表示
	COM1 通信モード
	COM1 通信ボーレート
	過去画像参照先

本体ブザー

本体内蔵ブザーを鳴らす条件を設定します。

本体ブザー
OFF
ON
警告のみ

OFF : 鳴らさない
 ON : 鳴らす、
 警告のみ : 警告時のみ鳴らします。

本体ブザー音量

本体内蔵ブザーの音量を設定します。

本体ブザー
小
中
大

小 : 小さい音量
 中 : 中ぐらいの音量
 大 : 大きい音量

時刻設定

内蔵の時計を設定します。

時刻設定
2012/01/19 10:15:20

数字ボタンで日時を入力します。
 「決定」ボタンを押すと時計が動き出します。時報などに合わせて「決定」ボタンを押してください。

- 本機には内蔵時計を動かすための電池が入っています。この電池の寿命は通常の通電使用状態で約 5 年です。電池が切れると正しい時刻が表示されません。電池の交換は、裏表紙に記載されている当社サービス部門にご用命ください。

リモコンブザー

リモコンブザーを設定します。

本体ブザー
OFF
ON

OFF : 鳴らさない

ON : 鳴らす

OSD 初期表示

モニタ画面に表示される患者情報や動作状態などの文字情報 (OSD) 表示を設定します。

OSD 初期表示
OFF
ON

OFF : 表示しない

ON : 表示する

COM1 通信モード

RS-232C コネクタを使って通信する際のモードを設定します。

COM1 通信モード
MV-7000
MV-180
MV-X10
COM-O
COM-P
COM-I

MV-7000 : MV-7000 通信

MV-180 : MV-180 互換モード通信

MV-X10 : MV-10Xx 互換モード通信

COM-O : COM-O 通信

COM-P : COM-P 通信

COM-I : COM-I 通信

- 設定は再起動後に有効になります。
- 設定を行うと、最適なボーレートに自動設定されます。変更が必要な場合は次の「COM1 通信ボーレート」設定で変更してください。

COM1 通信ボーレート

RS-232C コネクタを使って通信する際のボーレートを設定します。

COM1 通信ボーレート
2400
4800
9600
19200
38400

- 設定は再起動後に有効になります。

過去画像参照先

画像参照機能を使用する場合の過去画像（収録済み画像）を検索するためのデバイス（参照先）を指定します。

過去画像参照先				
<table><tbody><tr><td>内蔵 HDD</td></tr><tr><td>SD カード</td></tr><tr><td>USB メディア</td></tr><tr><td>ネットワーク</td></tr></tbody></table>	内蔵 HDD	SD カード	USB メディア	ネットワーク
内蔵 HDD				
SD カード				
USB メディア				
ネットワーク				

画像設定

「IDLE」状態から「初期設定」ボタンを押してメニューを表示させます。(33 ページ)

「画像設定」を選択し「決定」ボタンを押すと下記画面になります。

初期設定	入力選択
画像設定	録画画質選択
	VIDEO 終端
	アイドル画像スルー

入力選択

映像入力信号を設定します。

入力選択
VIDEO
S-VIDEO
RGB

VIDEO : コンポジットビデオ

S-VIDEO : S-VIDEO

RGB : RGB 4 線式ビデオ

録画画質選択

録画画質を設定します。

録画画質選択
EQ
SQ
HQ
TIFF

EQ : 容量節約画質

SQ : 標準画質

HQ : 高画質

TIFF : 非圧縮

TIFF 設定時、静止画は TIFF 画質になりますが、
動画の画質は HQ になります。

VIDEO 終端

コンポジットビデオ入力終端 (75Ω) を設定します。

VIDEO 終端
OFF
ON

OFF : 終端しない

ON : 終端する

アイドル画像スルー

IDLE 状態の映像出力端子の出力信号を設定します。

アイドル画像スルー
OFF ON

OFF : 黒信号を出力する。(内部同期)
ON : 入力信号を出力する

「IDLE」状態から「初期設定」ボタンを押してメニューを表示させます。(33 ページ)
「動画設定」を選択し「決定」ボタンを押すと下記画面になります。

初期設定	動画録画
動画設定	最大動画録画時間
	PRE 録画時間
	POST 録画時間
	最大時間録画後動作

動画録画

動画録画の ON/OFF を設定します。

動画録画
OFF ON

OFF : 動画を録画しない
ON : 動画を録画する

最大動画録画時間

動画録画の最大時間を設定します。

最大動画録画時間
60 (秒)

秒単位指定で 1 ～ 600 秒まで指定できます。

PRE 録画時間

録画スタート信号が入った時、それ以前の動画を録画する時間を設定します。

PRE 録画時間
0 (秒)

秒単位指定で 0 ～ 30 秒まで指定できます。

POST 録画時間

録画停止後に、録画し続ける時間を設定します。

POST 録画時間
0 (秒)

秒単位指定で 0 ～ 30 秒まで指定できます。

最大時間録画後動作

指定した「最大動画録画時間」が経過した時の動作を設定します。

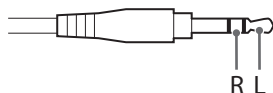
最大時間録画後動作
自動停止 警告

自動停止：停止する
警告 ：警告音とメッセージを発生させる
 60 秒間停止操作が無い場合、自動停止

「IDLE」状態から「初期設定」ボタンを押してメニューを表示させます。(33 ページ)
「外部トリガ設定を選択し「決定」ボタンを押すと下記画面になります。

初期設定	EXT SW1 L
外部トリガ設定	EXT SW1 R
	EXT SW2 L
	EXT SW2 R

- 外部トリガ用ジャックはステレオミニジャックで、外部接点スイッチ等を接続します。



注意

- モノラルプラグを使用した場合、R 側の設定は OFF にしてください。
- 外部トリガ信号が 1 系統の時は、L/R の使用する接点のみ設定してください。(使用しない接点側は OFF にしてください)
- 同一端子で L/R 両方の設定をした場合、L/R どちらかの端子が常に GND に接続されていると正常に動作しません。

EXT SW1 L

外部トリガ SW1 の Lch 信号端子の動作設定をします。

EXT SW1 L
OFF
静止画録画
動画スタート
動画ストップ
L レベル中動画録画
動画スタート/ストップ

OFF : 機能なし
静止画録画: 静止画を 1 枚録画します

動画スタート : 動画録画を開始します
動画ストップ : 動画録画を停止します
L レベル中動画録画: L レベルの間、動画を録画します
動画スタート/ストップ: 動画のスタート、ストップを順番に行います(停止中は開始、録画中は停止)

EXT SW1 R

外部トリガ SW1 の Rch 信号端子の動作設定をします。

EXT SW2 L

外部トリガ SW2 の Lch 信号端子の動作設定をします。

EXT SW2 R

外部トリガ SW2 の Rch 信号端子の動作設定をします。
このトリガのみ「録画時出力」メニューが追加されます。

EXT SW2 R
OFF
静止画録画
動画スタート
動画ストップ
L レベル中動画録画
動画スタート/ストップ
録画時出力

録画時出力: 外部に LED を接続することにより、録画中に LED を点灯させる事ができます。

患者情報設定

「IDLE」状態から「初期設定」ボタンを押してメニューを表示させます。(33 ページ)

「患者情報設定」を選択し「決定」ボタンを押すと下記画面になります。

初期設定	患者リスト表示
患者情報設定	患者リスト保管
	患者リスト有効期限
	患者リスト自動取得
	リファレンス ID
	リファレンス ID コピー
	ID 桁数指定

患者リスト表示

予約患者リスト表示する時に検査済みの ID をマーク表示 (マーク) するか、表示しない (削除) かを設定します。

患者リスト表示
マーク
削除

マーク: マーク表示
削除 : 表示から削除

- 本機能を使用するには専用の LAN 制御プログラムが必要です。詳細はお問い合わせ下さい。

患者リスト保管

受信した予約患者リストを装置内部に保管するかを設定します。

患者リスト保管
OFF
ON

OFF : 保管しない
ON : 保管する

患者リスト有効期限

受信した予約患者リストの有効期限を設定します。

患者リスト有効期限
10 時 (翌日の時刻)

翌日の何時まで有効かを指定します。(時間単位)
0 にすると当日の 23:59 まで有効となります。

患者リスト自動取得

装置の起動時に予約患者リストを自動で受信するかを設定します。

患者リスト自動取得
OFF
ON

OFF：自動取得しない

ON：自動取得する

リファレンス ID

リファレンス ID 機能を設定します。

リファレンス ID
OFF
オンライン
オフライン

OFF：使用しない

オンライン：ネットワークへ問合せ

オフライン：内部データへ問合せ

● リファレンス ID 機能

キーコード (リファレンス ID) をリモコンから入力し LAN 通信を行い、該当患者の情報を取得する機能です。専用制御サーバーが必要になります。

リファレンス ID コピー

リファレンス ID 機能を使用する場合に、その ID を他の項目にコピーして使用するかを設定します。

リファレンス ID コピー
OFF
患者 ID
受付番号

OFF：使用しない

患者 ID：患者 ID にコピーする

受付番号：受付番号にコピーする

- 患者 ID と同一運用なら「患者 ID」を選択します。

ID 桁数指定

入力された患者 ID の桁数を合わせる機能を設定します。

ID 桁数指定
10

指定桁に満たない場合、指定桁まで 0 を付加します (上位桁側)。

- 指定桁以上の ID が入力された場合は機能しません。

例 10 を設定した場合

ID 入力 12345 → 0000012345

ネットワーク設定

「IDLE」状態から「初期設定」ボタンを押してメニューを表示させます。(33 ページ)

「ネットワーク設定」を選択し「決定」ボタンを押すと下記画面になります。

初期設定	装置名称
ネットワーク設定	IP 取得
	IP アドレス
	サブネットマスク
	デフォルトゲートウェイ
	NTP 時刻同期
	画像サーバーアドレス
	画像サーバーポート番号
	本体制御ポート番号
	制御サーバーアドレス
	制御サーバーポート番号

選択位置が「制御サーバーポート番号」のときに ▼ ボタンを押すと、メニュー表示がスクロールして、「画像参照サーバーポート番号」が表示されます。

初期設定	IP 取得
ネットワーク設定	IP アドレス
	サブネットマスク
	デフォルトゲートウェイ
	NTP 時刻同期
	画像サーバーアドレス
	画像サーバーポート番号
	本体制御ポート番号
	制御サーバーアドレス
	制御サーバーポート番号
	画像参照サーバーポート番号

ネットワーク設定は画像をネットワーク転送するために必要な設定です。

この設定が済むまでネットワークに接続しないでください。

- ネットワークの設定、接続については接続するネットワークの管理者の指示に従ってください。

装置名称

ネットワーク転送で使われる本機の名前を設定します。

装置名称
MV0001

IP 取得

本機の IP アドレスを手動で設定するか自動取得にするかの設定をします。

IP 取得
手動
自動

手動：IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイの項目を設定し固定でネットワークアドレスを割り当てます。

自動：自動でネットワークアドレスを取得します。
DHCP サーバーが必要になります。
この設定にして自動取得が成功すると、IP アドレス・サブネットマスク・デフォルトゲートウェイの各設定に取得した値が表示されます。取得に失敗した場合、各項目が「0.0.0.0」表示になります。

IP アドレス

本機の IP アドレスを設定します。

IP アドレス			
192	168	0	101

サブネットマスク

本機のサブネットマスクを設定します。

サブネットマスク			
255	255	255	0

デフォルトゲートウェイ

本機のデフォルトゲートウェイを設定します。

デフォルトゲートウェイ			
0	0	0	0

NTP 時刻同期

ネットワーク上に NTP (Network Time Protocol) サーバーがあり、本機の時刻をその NTP サーバーに同期させたい場合に「ON」に設定します。

NTP 時刻同期
OFF
ON

OFF：時刻同期しない

ON：時刻同期する

- 通信する NTP サーバーは「画像サーバーアドレス」で設定した IP アドレスです。
- 時刻同期は LAN ケーブルを接続した時、および本機の電源投入時に行います。

画像サーバーアドレス

画像転送先サーバーの IP アドレスを設定します。

画像サーバーアドレス			
192	168	0	151

画像サーバーポート番号

画像転送先サーバーのポート番号を設定します。

画像サーバーポート番号
10050

制御サーバーポート番号

制御サーバーのポート番号を設定します。

制御サーバーポート番号
10051

本体制御ポート番号

本機を LAN 制御する為のポート番号を設定します。

本体制御ポート番号
10050

画像参照サーバーポート番号

画像参照サーバーのポート番号を設定します。

画像参照サーバーポート番号
10052

制御サーバーアドレス

制御サーバーの IP アドレスを設定します。

制御サーバーアドレス
192 168 0 151

「IDLE」状態から「初期設定」ボタンを押してメニューを表示させます。(33 ページ)

「LAN 転送 / 外部収録設定」を選択し「決定」ボタンを押すと下記画面になります。

初期設定	LAN 自動転送設定
LAN 転送 / 外部収録設定	SD カード収録設定
	USB メディア収録設定
	LAN 動画サイズ
	SD 動画サイズ
	USB メディア動画サイズ
	外部保存警告容量

内蔵 HDD に一時的に保存した画像データを保管するために必要な設定です。

外部メディアに保存するか、ネットワーク経由でパソコンに転送するシステム構築を行ってください。

LAN 自動転送設定

録画した画像ファイルを自動的にネットワーク転送する設定を行います。

LAN 自動転送設定
OFF
ON
選択

OFF: 自動転送しない

ON : 自動転送する

選択: 収録後、転送しない画像を選択する

- ON 設定後に収録した検査画像が自動転送の対象になります。従って、OFF 設定時に収録した画像を転送したい場合は、手動転送機能を使用して下さい。
- 内蔵 HDD のデータをネットワーク転送します。

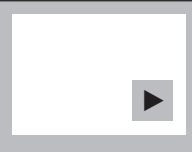
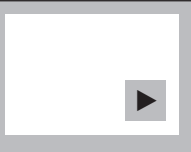
転送する画像の選択

「選択」を設定した場合、検査終了後の検索再生画面で「転送する画像」の選択を行ないます。

- 初期値は全て転送する設定です。

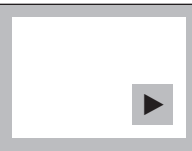
1 画像のサムネイル表示画面を表示させる。(24 ページ)

検査内画像リスト
778
YAMADA

		
1 19:33:07	2 19:33:09	

2 転送しない画像ファイルを選択し、「#」ボタンを押す。

検査内画像リスト
778
YAMADA

		
1 19:33:07	2 19:33:09	

- 転送設定を解除すると画像中央に「削除」と表示されます。再度「#」ボタンを押すと、「削除」が消え、「転送する画像」になります。

3 選択が終了したら、「*」ボタンを押す。

転送する画像を確定し、転送を開始します。

- 「戻る」ボタン、「ホーム」ボタンを押した場合、転送を開始しません。「転送する画像」の選択設定は保存されます。
- 再生画面の転送選択初期値は「転送する画像」(「削除」表示無し)ですが、確定操作(「*」ボタン)を行うまでは、転送されませんのでご注意ください。

SD カード収録設定

画像データを内蔵 HDD に収録するか、内蔵 HDD と SD カードに収録するかの設定を行います。

尚、USB メディア収録と両方選択する事はできません。

SD カード収録設定
OFF ON

OFF : SD カードに収録しない

ON : SD カードに収録する

- 1 枚の SD カード内に収録できる最大検査数は 9999 検査です。容量が空いていても最大検査数になると SD カードへの収録ができませんのでご注意ください。

注意

SD カードには、十分な空き容量がある事を確認してから収録して下さい。

USB メディア収録設定

画像データを内蔵 HDD に収録するか、内蔵 HDD と USB メディアに収録するかの設定を行います。

尚、SD カード収録と両方選択する事はできません。

USB メディア収録設定
OFF ON

OFF : USB メディアに収録しない

ON : USB メディアに収録する

注意

USB メディアには、十分な空き容量がある事を確認してから収録して下さい。

LAN 動画サイズ

LAN 自動転送設定を ON にした時に転送する動画のサイズ制限を設定します。

LAN 動画サイズ
1000 (MByte)

単位は MByte です。

設定サイズ以下の動画のみ転送します。

- 0 を設定すると動画の転送を行いません。
- 30000 を指定すると無制限になります。

SD 動画サイズ

SD カード収録設定を ON にした時に SD カードに収録する動画のサイズ制限を設定します。

SD 動画サイズ
10 (MByte)

単位は MByte です。

設定サイズ指定以下の動画のみ SD カードに収録します。

- 0 を設定すると動画の SD カード収録は行いません。
- 0 を設定しても内蔵 HDD には収録します。
- 30000 を指定すると無制限になります。

注意

収録した動画サイズが SD カードの空き容量より大きい場合は SD カードに保存できません。この時の SD カードの使用量表示は 100% になります。

収録した動画サイズより大きい空きがある SD カードを挿入して保存してください。

例えば、2G の SD カードを挿入して 2G 以上の動画を収録した場合、実際の空き容量はありますが、本機では使用量 100% 表示となり、2G の SD カードには保存できません。

USB メディア動画サイズ

USB メディア収録設定を ON にした時に USB メディアに収録する動画のサイズ制限を設定します。

USB メディア動画サイズ
10 (MByte)

単位は MByte です。

設定サイズ指定以下の動画のみ USB メディアに収録します。

- 0 を設定すると動画の USB メディア収録は行いません。
- 0 を設定しても内蔵 HDD には収録します。
- 30000 を指定すると無制限になります。

注意

収録した動画サイズが USB メディアの空き容量より大きい場合は USB メディアに保存できません。この時の USB メディアの使用量表示は 100% になります。

収録した動画サイズより大きい空きがある USB メディアを挿入して保存してください。

例えば、2G の USB メディアを挿入して 2G 以上の動画を収録した場合、実際の空き容量はありますが、本機では使用量 100% 表示となり、2G の USB メディアには保存できません。

外部保存警告容量

警告容量（使用量）の設定を行います。
外部メディアに収録する場合、使用量が一定容量以上になると、ブザーとメッセージで警告を出す事ができます。

外部保存警告容量	
95	(%)

警告使用量を % で指定します。
0 を指定すると、警告無しになります。

- 警告はリモコンのボタンを押すまで続きます。

「IDLE」状態から「初期設定」ボタンを押してメニューを表示させます。(33 ページ)

「カード・バーコード」を選択し「決定」ボタンを押すと下記画面になります。

初期設定	ID 文字範囲
カード・バーコード	名前文字範囲
	生年月日文字範囲
	性別文字位置
	リファレンス ID 文字範囲

患者情報を入力する為にカードリーダー、バーコードリーダーを接続する事が可能です。読み取ったデータの振り分け設定を行います。

磁気カード、バーコードに書かれた情報の何桁目から何文字分を対象文字として読み取るかを設定します。

- 各設定画面でカード・バーコードを通すと読み取ったデータを表示します。

ID 文字範囲

患者 ID として読み取る範囲を設定します。

ID 文字範囲
開始位置: 01 文字数: 08

開始位置と文字数を設定します。
文字数は最大で 32 文字まで指定できます。

- 文字数を「0」にすると読み取りません。

名前文字範囲

患者名として読み取る範囲を設定します。

名前文字範囲
開始位置: 10 文字数: 08

開始位置と文字数を設定します。
文字数は最大で 32 文字まで指定できます。

- 文字数を「0」にすると読み取りません。

生年月日文字範囲

生年月日として読み取る範囲を設定します。

生年月日文字範囲
開始位置: 20 文字数: 08

開始位置と文字数を設定します。
文字数は最大で 12 文字まで指定できます。

- 文字数を「0」にすると読み取りません。

性別文字位置

性別として読み取る位置を設定します。

性別文字位置
文字位置: 29

1 文字のみの読み込みです。「00」にすると性別は読み取りません。

リファレンス ID 文字範囲

リファレンス ID として読み取る範囲を設定します。

リファレンス ID 文字範囲
開始位置: 30 文字数: 10

開始位置と文字数を設定します。
文字数は最大で 16 文字まで指定できます。

- 文字数を「0」にすると読み取りません。

メンテナンス

「IDLE」状態から「初期設定」ボタンを押してメニューを表示させます。(33 ページ)「メンテナンス」を選択し「決定」ボタンを押すと下記画面になります。

初期設定	設定保存・反映
メンテナンス	設定初期化
	内蔵 HDD フォーマット
	ログ保存
	オプションソフト保存
	直近警告表示

設定保存・反映

本機の設定を SD カードに保存することができます。

設定保存
キャンセル
保存 (SD カード)
反映 (SD カード)
保存 (USB メディア)
反映 (USB メディア)

- キャンセル : メンテナンスメニュー画面に戻ります。
- 保存 (SD カード) : 本装置の設定値を SD カードに保存します。
- 反映 (SD カード) : SD カードに保存してある設定値を反映させます。
再起動 (電源 OFF → ON) 後に有効になります。
- 保存 (USB メディア) : 本装置の設定値を USB メディアに保存します。
- 反映 (USB メディア) : USB メディアに保存してある設定値を反映させます。

- 設定は、本機を再起動 (電源 OFF → ON) 後に有効になります。
- 設定を保存したカードを他の MV-7000S で読み込ませ設定を反映させることにより、同じ設定にすることができます。

設定初期化

本機の設定を初期化（工場出荷状態）します。

設定初期化
キャンセル 実行

キャンセル：メンテナンスメニュー画面に戻ります。
 実行：本装置の設定値を初期化します。
 再起動（電源 OFF → ON）後に有効になります。

内蔵 HDD フォーマット

本機の内蔵 HDD をフォーマット（初期化）します。

内蔵 HDD フォーマット
キャンセル 実行

キャンセル：メンテナンスメニュー画面に戻ります。
 実行：内蔵 HDD をフォーマットします。

- 内蔵 HDD をフォーマットするとすべての画像はなくなります。

ログ保存

本機の動作ログを SD カードに保存します。
 保存フォルダーは「¥ViewFile-m system¥Log¥」です。

ログ保存
キャンセル SD カード USB メディア

キャンセル：メンテナンスメニュー画面に戻ります。
 SD カード：SD カードにログを保存します。
 USB メディア：USB メディアにログを保存します。

オプションソフト保存

オプションソフトを外部メディアに保存します。
 保存フォルダは「¥ViewFile-m system¥OptionSoft¥」です。

オプションソフト保存
キャンセル SD カード USB メディア

キャンセル：メンテナンスメニュー画面に戻ります。
 SD カード：SD カードにオプションソフトを保存します。
 USB メディア：USB メディアにオプションソフトを保存します。

直近警告表示

装置に表示された警告表示の最新 20 個を表示します。

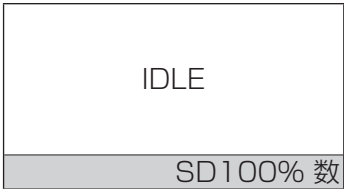
文字入力

文字の種類を選択する

リモコンの「文字」ボタンを押す毎に



の順で変わります。
入力する文字の種類は LCD の右下に表示されます。



LCD の表示は

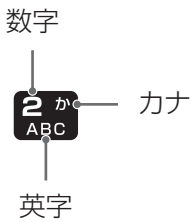


の順で変わります。

文字の入力

リモコンの数字ボタンを使用して文字を入力します。
あらかじめ入力する文字の種類を選択し、目的の文字が表示されるまで数字ボタンを押してください。

例) 数字ボタン「2」を押して入力できる文字



種類	入力できる文字
数字	2
英字	A、B、C、a、b、c、2
カナ	カ、キ、ク、ケ、コ

例) 患者 ID に 001122、患者名に「マツタ」と入力する。

1 IDLE 画面から「数字」ボタンで「001122」と入力する。

患者 ID 入力画面が表示されます。(20 ページ)

2 「文字」ボタンを 2 回押し、カナ入力にする。

リモコン右下の表示が「カ」になります。

3 「▼」ボタンを押してカーソルを 2 行目に移動する。

4 「7(ま)」ボタンを 1 回押す。

入力欄の表示：マ

5 「4(た)」キーを 3 回押す。

入力欄の表示：マツ

6 「▶」ボタンを 1 回押す。

7 「4(た)」キーを 1 回押す。

入力欄の表示：マツタ

8 「* (ゝ)」ボタンを 1 回押す。

入力欄の表示：マツタゝ

● 「戻る」ボタン押すと 1 文字消去します。

エラーメッセージ一覧

表示	内容	対処・詳細
プリ画像が足りませんでした	動画設定でプリ設定時間分の画像データがたまっていない場合に表示されます。	検査開始など、プリ動作が有効になった後、設定時間分経過後に録画を開始してください。
プリ画像がありませんでした		
設定を有効にするには再起動が必要です	設定変更後に再起動が必要な場合に表示されます。	MV-7000S の電源を落とし、再度起動してください。
既に録画中です	動画を録画中にさらに録画のトリガが発生した場合に表示されます。	録画開始は録画停止後に行ってください。
システムエラー	故障の可能性があります。	故障の可能性があります。ティアック修理センターにご連絡ください。
システム例外エラー		
OS エラー		
メモリー・エラー		
一時ファイル・エラー		
操作できる状態ではありません	他の作業を実行中で指定された項目を処理できない場合に表示されます	他の作業が完了後に実行してください。
数値が範囲外です	入力された値が、設定できる範囲ではありません。	設定範囲に含まれる値を指定してください。
設定値が不正です	入力された値が、設定できるものではありません。	設定できる値を指定してください。
設定保存に失敗しました	SD カードからの設定値の読み書きに失敗しました。	正常な SD カードを使用してください。
設定反映に失敗しました	ハードディスクの異常を検出しました。	故障の可能性があります。ティアック修理センターにご連絡ください。
ファイルが不正です	指定されたファイルが壊れている可能性があります。	SD カードに対する操作の場合、正常な SD カードを使用してください。 ハードディスクに対する操作の場合には、修理センターにご相談ください。
ハードディスクの移行中です	ハードディスクの記録領域を切り換えています。	切り換えには数分かかります。切り換えが完了後に操作してください。
リモコンがロックされています	外部からの設定により、リモコンの操作が禁止されています。	外部の機器より操作禁止を解除してください。 緊急の場合は、ホームボタンを押し、操作禁止を解除してください。
SD 収録中は実行できません	SD カードへ収録中の場合、手動での SD への収録はできません。	設定で SD カードへの収録を OFF にしてから実行してください。
対応していないファイルです	他機種で記録されたファイルをコンバートした場合、本機では使用できないファイルとなります。	本機での使用はできません。
SD または LAN の自動処理を停止できません	LAN 処理、SD 収録の停止を試みましたが、一定時間内に停止できませんでした。	何度か操作を行ってください。
システム・ハードウェアのバージョンが古すぎます	本機のハードウェアとソフトウェアのバージョンに不整合が発生しています。	ソフトウェアのバージョンと、ハードウェアのバージョンをご確認ください。
動画録画中は実行できません	動画録画中には実行できない操作です。	動画録画終了後に実行してください。

エラーメッセージ一覧

表示	内容	対処・詳細
ハードディスクが異常です	ハードディスクの故障の可能性があります。	故障の可能性があります。ティアック修理センターにご連絡ください。
リスト受信に失敗しました	設定されたサーバーより、リストの受信ができませんでした。	ネットワーク設定や、ネットワーク・ケーブル、ハブ、また、サーバの設定等が正しいか確認してください。
ファイル・エラー	ファイル操作でエラーが発生しました。	故障の可能性があります。ティアック修理センターにご連絡ください。
SD カードが挿入されていません	SD カードが挿入されていないか、認識されていません。	本機で初期化済みの正常な SD カードを挿入してください。
SD カードが初期化されていません	SD カードが本機で初期化されていません。	本機で初期化済みの正常な SD カードを挿入してください。
SD カードがプロテクトされています	SD カードにライト・プロテクトが施されています。	SD カードのライト・プロテクト・タブを記録可能な方向へスライドさせてください。
リードオンリーの SD カードです	他機で記録された SD カード等で記録できない状態の SD カードです。	この SD カードに記録する場合は、本機での初期化が必要です。SD カードを初期化するとカード内のすべてのデータは消去されます。
SD カード・エラー	SD カードに読み書き中にエラーが発生しました。	SD カードを正常なものと交換してください。交換しても同様のメッセージが表示される場合は故障の可能性があります。ティアック修理センターにご連絡ください。
SD カードの空き容量がありません	SD カードに記録可能な空き容量がなくなりました。	十分に空き容量のある新しい SD カードに交換してください。
作動中に SD カードが挿抜されました	本機の作動中に SD カードが抜き差しされました。	SD カードの抜き差しは、電源を落としてから行ってください。
検査内画像が最大に達しました	1 検査内の記録可能な画像件数に達したため、同一検査では記録ができません。	現在の検査を終了し、新しい検査を開始後、録画を行ってください。
録画エラー	録画中にエラーが発生しました。	故障の可能性があります。ティアック修理センターにご連絡ください。
録画するデータがありません	ビデオ信号の途切れ等で一時的に入力が出検できない場合に発生することがあります。	ビデオ信号が安定してから、録画を行ってください。
録画がキャンセルされました	録画のキャンセル処理が発生しました。	この画像の録画はキャンセルされました。
録画を停止しました	動画録画中の検査終了等により、録画を停止しました。	停止までの画像が記録されています。録画を継続する場合は、検査を開始し、録画を再開させてください。
動画が設定時間に達しました	録画時間が設定された最大時間に達しました。(最大時間録画後動作で警告が設定されている場合)	録画を停止してください。最大時間に達した後も停止操作までは録画は継続されますが、60 秒後に自動停止します。
動画が最大時間に達したため停止しました	録画時間が設定された最大時間に達したため、録画を停止しました。(最大時間録画後動作で自動停止が設定されている場合)	継続して録画が必要な場合は、再度録画操作を行ってください。
映像入力がありません	ビデオ信号の入力がありません。	ビデオ信号を入力してください。
録画されたデータがありません	録画されたデータが一件もありません。	録画後に実行してください。

表示	内容	対処・詳細
再生エラー	再生データが破損しています。	SD カードに対する操作の場合、正常な SD カードを使用してください。 ハードディスクに対する操作の場合には、ティアック修理センターにご相談ください。
SD 再生エラー		
再生データが異常です		
検査情報が異常です		
該当の検査がありません	条件に一致する検査がありません。	条件の指定等を見直してください。
ネットワーク接続エラー	ネットワークでの接続に失敗しました。	ネットワーク設定や、ネットワーク・ケーブル、ハブ、また、サーバの設定等が正しいか確認してください。
NTP エラー	NTP の通信に失敗しました。	ネットワーク設定や、ネットワーク・ケーブル、ハブ、また、サーバの設定等が正しいか確認してください。
サーバーエラー	サーバーからの応答でエラーが発生しました。	ネットワーク設定や、ネットワーク・ケーブル、ハブ、また、サーバの設定等が正しいか確認してください。
重複した IP アドレスが存在します	設定された IP アドレスが他の機器で使用されています。	本機、もしくは他の機器の IP アドレスを変更し、同じアドレスを使用しないようにしてください。
ネットワーク異常発生	ネットワーク処理でエラーが発生しました。	ネットワーク設定や、ネットワーク・ケーブル、ハブ、また、サーバの設定等が正しいか確認してください。
SD カード・ライト・エラー	SD カードの書き込みで異常が発生しました。	SD カードを正常なものと交換してください。交換しても同様のメッセージが表示される場合は故障の可能性があります。ティアック修理センターにご連絡ください。
SD カード・リード・エラー	SD カードの読み込みで異常が発生しました。	
SD カード異常	SD カードの読み書きで異常が発生しました。	
SD カード録画件数が一杯です	SD カードの録画件数が最大に達しました。	十分に空き容量のある新しい SD カードに交換してください。
ハードウェア・エラー	ハードウェアの異常を検出しました。	故障の可能性があります。ティアック修理センターにご連絡ください。
ハードウェアの初期化に失敗しました		
画像データを取得できません	ビデオ信号の途切れ等で一時的に入力が出できない場合に発生することがあります。	ビデオ信号が安定してから、録画を行ってください。
両方の外部記録が有効にされたため片方を OFF にしました。	外部収録設定において、SD カード収録と USB メディア収録との両方を選択することはできません。今回の設定を有効にして他方の設定を OFF にしました。	設定値を確認してください。

保守と保証

点検のすすめ

毎日の使用前に点検を行ってください。故障の早期発見に役立ち、トラブルを未然に防ぎます。

点検項目

- 電源コードは正しく接続されていますか？
- 各種コネクタは正しく接続されていますか？

装置の機能保持、安全性の向上のために定期的に点検を受けることをおすすめします。定期点検を含む各種の保守点検・保守契約などについては、最寄の弊社営業所または弊社サービス部門にご相談ください。

本体のクリーニング

安全のため、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

- トップカバーやパネル面が汚れた場合は、薄めた中性洗剤を少し含ませた柔らかい布で拭いたあと、固く絞った布で水拭きしてください。化学ぞうきんやベンジン、シンナーなどで拭かないでください。表面を傷める原因となります。
- エアゾールクリーナは使わないで下さい。装置内部に埃等が入る可能性があります。
- ゴムやビニール製品を長時間触れさせると、キャビネットを痛めることがありますので避けてください。

故障かなと思ったら

つぎのような場合には修理をご依頼になる前に、もう一度チェックしてください。

電源が入らない

- ➡ 電源コードの接続を確認してください。(コンセントから抜けていないか、コンセントに正しく接続されているか)

電源は入るが画像が何も出ない

- ➡ 本体リアパネルのコネクタが抜けていないか、使用しているケーブルが断線していないかを確認してください。
画像設定の入力選択が正しく設定されているか確認してください。

保証について

- 本装置の保証期間は、購入日から 1 年間です。
- 次のような場合には、保証期間中であっても有償修理となりますのであらかじめご了承ください。
 - (1) 誤使用による故障、又は損傷
 - (2) 弊社、又は弊社の指定のサービスマン以外による改造、及び修理による故障、又は損傷
 - (3) 納品後の落下、輸送などによる故障、又は損傷
 - (4) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変による故障、又は損傷
 - (5) 電源、設備環境条件などの、本製品の使用条件を逸脱した外部要因による故障、又は損傷
 - (6) 弊社、及び弊社指定の代理店以外から購入された場合の故障、又は損傷
- 保証期間終了後のアフターサービスについては、有償にてお受け致しますので最寄の弊社営業所またはティアック修理センターにご相談ください。
- 本装置を運用した結果、及びデータに基づく二次的な損害につきましては、弊社は責任を負いかねますのでご了承ください
- 本装置で録画されたデータの、誤操作や突発的な事故などによる消去につきましては責任を負いかねますのでご了承ください
- ここに記載されております製品に関する情報、諸データは、あくまで一例を示すものであり、これらに關します第三者の知的財産権、およびその他の権利に対して、権利侵害がないことの保証をしめすものではありません。従いまして、上記第三者の知的財産権の侵害の責任、又は、これらの製品の使用により発生する責任につきましては、弊社はその責を負いかねますのでご了承ください。

廃棄するときは

本製品ならびに付属品、消耗品等を廃棄する際は、それぞれの国、地域、自治体の規制に従って廃棄してください。

仕様

一般仕様

収録メディア	
内蔵 HDD	2.5inch HDD
外部メディア	SD メモリカード USB メモリ /HDD
動作確認メディアは下記リンク、本機の仕様を参照	http://teacmv.jp/products/
制御	付属リモートコントロールユニット VS-7000
動作姿勢	水平
電源	AC100V ±10% 50/60 Hz 0.62A
動作温湿度範囲	5 ～ 35℃ 30 ～ 80%RH (非結露) 最大湿球温度 29℃
保存温湿度範囲	－ 10 ～ 60℃ 30 ～ 90%RH(非結露) 最大湿球温度 29℃
外形寸法	
本体	202W×94H×290D (mm) [突起物除く]
リモコン	77W ×18H×190D (mm) [突起物除く]
質量	
本体	約 3.2 kg
リモコン	約 200 g
規格	
安全規格	電気用品安全法
EMI	VCCI-A

インターフェース

RS-232C (2 個)	D-SUB 9 ピン
LAN (1 個)	100Base-TX/1000Base-T (RJ45)
USB (5 個)	USB2.0
REMOTE 接点スイッチ (3 個)	
	ステレオミニジャック

ビデオ仕様

入力信号	30 フレーム / 秒 525 ライン (NTSC 準拠テレビジョン信号)
NTSC 映像入力	
VIDEO	1.0 Vpp 75Ω 終端
S-VIDEO	
輝度信号	1.0 Vpp 75Ω 終端
色信号	0.286 Vpp 75Ω 終端
RGB	
映像信号	0.714 Vpp 75Ω 終端
同期信号	0.3 Vpp ～ 4 Vpp 75Ω 終端 (負極性)
NTSC 映像出力	
VIDEO	1.0 Vpp 75Ω 終端
S-VIDEO	
輝度信号	1.0 Vpp 75Ω 終端
色信号	0.286 Vpp 75Ω 終端
RGB	
映像信号	0.714 Vpp 75 Ω 終端
同期信号	4 Vpp 75Ω 終端 (負極性)
NTSC コネクタ	BNC (コンポジット入出力) S コネクタ (S- ビデオ入出力) D-Sub 15 ピン (RGB 入出力) [ミニチュア型]
映像データ処理	
画像非圧縮方式	TIFF
画像圧縮方式	JPEG
標本化周波数	12.27 MHz
量子化ビット数	R.G.B 各 8 ビット / サンプル
圧縮 / 伸長方式	DCT+ ハフマン符号化

医用仕様

電撃に対する保護の形式による分類： クラス I 機器

水の有害な浸入に対する保護の程度による分類：
普通 (水の浸入に対して保護しない)

空気・可燃性麻酔ガス、又は酸素又は亜酸化窒素・可燃性麻酔ガスのある中での使用の安全の程度による分類：
空気・可燃性麻酔ガス、又は酸素又は亜酸化窒素・可燃性麻酔ガス中での使用に適しない機器

作動 (運転) モードによる分類： 連続作動 (運転) 機器

付録A コネクターピン配列

NTSC S-VIDEO INPUT/OUTPUT

端子番号	信号名
1	GND
2	GND
3	S-Y
4	S-C

NTSC RGB INPUT/OUTPUT

端子番号	信号名
1	R
2	G
3	B
4	---
5	GND
6	R-GND
7	G-GND
8	B-GND
9	---
10	GND
11	---
12	---
13	COMP-SYNC
14	---
15	---

RS-232C

端子番号	信号名
1	---
2	RXD
3	TXD
4	DTR
5	GND
6	DSR
7	RTS
8	CTS
9	---

TXD、RXD、RTS、CTS、DTR、DSRの入出力仕様は、EIA RS-232C に準拠しています。

マイクロソフト ソフトウェア ライセンス条項

WINDOWS EMBEDDED STANDARD 7

本マイクロソフト ソフトウェア ライセンス条項（以下「本ライセンス条項」といいます）は、お客様と ティアック株式会社との契約を構成します。以下のライセンス条項をお読みください。本ライセンス条項は、本デバイスに含まれる本ソフトウェアに適用されます。本ソフトウェアには、お客様が本ソフトウェアを受け取った別個のメディアも含まれます。

本デバイス上の本ソフトウェアには、Microsoft Corporation またはその関連会社からライセンスされているソフトウェアが含まれます。

また、本ライセンス条項は本ソフトウェアに関連する下記マイクロソフト製品にも適用されるものとします。

- ・ 更新プログラム
- ・ 追加ソフトウェア
- ・ インターネットベースのサービス
- ・ サポート サービス

なお、これらの製品に別途ライセンス条項が付属している場合には、当該ライセンス条項が適用されるものとします。

お客様が更新プログラムまたは追加ソフトウェアをマイクロソフトから直接入手された場合は、ティアック株式会社ではなく、マイクロソフトが当該更新プログラムまたは追加ソフトウェアのライセンスを付与します。

以下に説明するように、本ソフトウェアを使用することにより、インターネットベースのサービスのために特定のコンピューター情報を送信することにお客様が同意されたものとします。

本ソフトウェアを使用することにより、お客様は本ライセンス条項に同意されたものとします。本ライセンス条項に同意されない場合、本ソフトウェアを使用することはできません。この場合、ティアック株式会社に問い合わせ、お支払いいただいた金額の払い戻しに関する方針を確認してください。

お客様がこれらのライセンス条項を遵守することを条件として、お客様には以下が許諾されます。

1. 使用権

使用。本ソフトウェア ライセンスは、お客様が本ソフトウェアと共に取得されたデバイスに永続的に割り当てられます。お客様は、本ソフトウェアを本デバイスで使用することができます。

2. 追加のライセンス条件および追加の使用権

a. 特定用途。ティアック株式会社は、本デバイス

を特定用途向けに設計しました。お客様は、当該用途に限り本ソフトウェアを使用することができます。

b. その他のソフトウェア。お客様は、その他のプログラムが以下の条件を満たす場合に限り、本ソフトウェアと共にその他のプログラムを使用することができます。

- ・ 本デバイスに関する製造業者の特定用途を直接サポートしている。または
- ・ システム ユーティリティ、リソース管理、あるいはウイルス対策または同様の保護を提供している。
- ・ コンシューマー タスクまたはプロセスや、ビジネス タスクまたはプロセスを提供するソフトウェアを、本デバイス上で実行することはできません。これには、電子メール、ワードプロセッシング、表計算、データベース、スケジュール作成、家計簿ソフトウェアが含まれます。本デバイスは、ターミナル サービスプロトコルを使用して、サーバー上で実行されているかかるソフトウェアにアクセスすることができます。

c. デバイスの接続。お客様は、本ソフトウェアをサーバー ソフトウェアとして使用することはできません。つまり、複数のデバイスから同時に、本ソフトウェアにアクセスしたり、本ソフトウェアを表示、実行、共有、または使用したりすることはできません。

お客様は、ターミナル サービス プロトコルを使用して、デバイスを、電子メール、ワードプロセッシング、スケジュール作成、または表計算などのビジネス タスクまたはプロセス ソフトウェアを実行しているサーバーに接続することができます。

お客様は、最大 10 台の他のデバイスから本ソフトウェアにアクセスして、以下のサービスを使用することを許可できます。

- ・ ファイル サービス
- ・ プリント サービス
- ・ インターネット インフォメーション サービス、および
- ・ インターネット接続の共有およびテレフォニー サービス

上記の 10 台という接続数制限は、「マルチプレキシング」または接続数をプールするその他のソフトウェアもしくはハードウェアを介して

本ソフトウェアに間接的にアクセスするデバイスにも適用されます。お客様は、TCP/IP を介して無制限の受信接続を随時使用することができます。

- d. リモート アクセス テクノロジ。**お客様は、以下の条件に従う場合に限り、リモート アクセス テクノロジを使用して他のデバイスから本ソフトウェアにリモート アクセスして使用することができます。

リモート デスクトップ。本デバイスの特定の 1 名の主要ユーザーは、リモート デスクトップ機能またはこれに類似するテクノロジを使用して、他のデバイスからセッションにアクセスすることができます。「セッション」とは、入力、出力、および表示用の周辺機器を利用して直接または間接に本ソフトウェアを双方向で使用できる状態を意味します。リモート デバイス用の本ソフトウェアを実行するためのライセンスが別途取得されている場合、その他のユーザーもこれらのテクノロジを使用して、任意の数のデバイスからセッションにアクセスすることができます。

その他のアクセス テクノロジ。お客様は、リモート アシスタンスまたはこれに類似するテクノロジを使用してセッションを共有することができます。

その他のリモート使用。お客様は、任意の数のデバイスに、デバイス間でのデータの同期など上記の「デバイスによる接続」および「リモート アクセス テクノロジ」の項に記載されている以外の目的で、本ソフトウェアにアクセスすることを許可することができます。

- e. フォント コンポーネント。**本ソフトウェアの実行中、お客様は本ソフトウェアに付属のフォントを使用してコンテンツを表示および印刷することができます。以下の操作のみが許可されます。

- フォントの埋め込みに関する制限の下で許容される範囲でコンテンツにフォントを埋め込む。
- コンテンツを印刷するために、フォントをプリンターまたはその他の出力デバイスに一時的にダウンロードする。

- f. アイコン、画像、および音声。**本ソフトウェア作動中、本ソフトウェアのアイコン、イメージ、サウンド、およびメディアを使用することはできますが、これらを共有することはできません。

3. VHD ブート。本ソフトウェアの仮想ハード ディ

スク機能を使用して作成された本ソフトウェアの追加の複製（以下「VHD イメージ」といいます）が、本デバイスの物理ハード ディスクにプレインストールされていることがあります。これらの VHD イメージは、物理ハード ディスクまたは物理ハード ドライブにインストールされている本ソフトウェアを保守または更新するためにのみ使用することができます。VHD イメージがお客様のデバイス上の唯一のソフトウェアである場合、プライマリのオペレーティング システムとして使用することができますが、VHD イメージの他のすべての複製は保守および更新以外を目的として使用することはできません。

4. 問題を起こす可能性のある危険なソフトウェア。

本ソフトウェアには、Windows Defender が含まれている場合があります。Windows Defender を有効にした場合、「スパイウェア」や「アドウェア」など、問題を起こす可能性のある危険なソフトウェアが本デバイスに存在しないかが Windows Defender によって検索されます。問題を起こす可能性のあるソフトウェアが見つかった場合、そのソフトウェアを無視するか、無効にするか（隔離）、または削除するかを確認するメッセージが表示されます。既定の設定を変更していない限り、問題を起こす可能性のある危険なソフトウェアのうち「高」または「重大」と評価されるものは、スキャン後に自動的に削除されます。問題を起こす可能性のあるソフトウェアを削除するか、無効にする場合、次の点に注意する必要があります。

- デバイスにある他のソフトウェアが動作しなくなる場合がある。
- 本デバイス上の他のソフトウェアを使用するためのライセンスに抵触する場合がある。

本ソフトウェアを使用することで、問題を起こす可能性のあるソフトウェアではないソフトウェアも削除されたり、無効化されたりする可能性があります。

5. ライセンスの適用範囲。本ソフトウェアは使用許諾されるものであり、販売されるものではありません。

本ライセンス条項は、お客様に本ソフトウェアを使用する限定的な権利を付与します。ティアック株式会社およびマイクロソフトはその他の権利をすべて留保します。適用される法令により上記の制限を超える権利が与えられる場合を除き、お客様は本ライセンス条項で明示的に許可された方法でのみ本ソフトウェアを使用することができます。この場合、お客様は、使用方法を制限するた

めに本ソフトウェアに組み込まれている技術的制限に従わなければなりません。詳細については、本ソフトウェア付属の文書を参照するか、ティアック株式会社にお問い合わせください。お客様は、以下を行うことはできません。

- 本ソフトウェアの技術的な制限を回避して使用すること。
- 本ソフトウェアをリバース エンジニアリング、逆コンパイル、または逆アセンブルすること。
- 本ライセンス条項で規定されている数以上の本ソフトウェアの複製を作成すること。
- 第三者が複製できるように本ソフトウェアを公開すること。
- 本ソフトウェアをレンタル、リース、または貸与すること。
- 本ソフトウェアを商用ソフトウェア ホスティング サービスで使用する。

本ライセンス条項に明示的に規定されている場合を除き、本デバイス上の本ソフトウェアにアクセスする権利は、本デバイスにアクセスするソフトウェアまたはデバイスにおいてマイクロソフトの特許またはその他の知的財産権を行使する権利を、お客様に付与するものではありません。

6. インターネットベースのサービス。マイクロソフトは、本ソフトウェアについてインターネットベースのサービスを提供します。マイクロソフトは、いつでもこのサービスを変更または中止できるものとします。

a. インターネットベースのサービスに関する同意。本デバイスには、以下に記載されている 1 つ以上のソフトウェア機能が含まれている場合があります。これらの機能は、インターネットを経由してマイクロソフトまたはサービス プロバイダーのコンピューター システムに接続します。接続が行われた際、通知が行われない場合があります。これらの機能の詳細については、go.microsoft.com/fwlink/?linkid=104604 をご参照ください。

これらの機能を使用することで、お客様は、この情報の送信に同意されたものとします。マイクロソフトは、これらの情報を利用してお客様の特定またはお客様への連絡を行うことはありません。

コンピューター情報。以下の機能はインターネット プロトコルを使用しており、お客様の IP ア

ドレス、オペレーティング システムの種類、ブラウザの種類、使用している本ソフトウェアの名称およびバージョン、ならびに本ソフトウェアをインストールしたデバイスの言語コードなどのコンピューター情報を適切なシステムに送信します。マイクロソフトは、お客様にインターネットベースのサービスを提供するためにこの情報を使用します。ティアック株式会社は、本デバイスで以下の機能を有効にすることを選択しています。

- プラグ アンド プレイおよびプラグ アンド プレイの拡張。お客様は、お客様のデバイスに新しいハードウェアを接続することができます。デバイスには、かかるハードウェアと通信するために必要なドライバーがインストールされていない場合があります。この場合、本ソフトウェアの更新機能により、マイクロソフトから適切なドライバーを取得し、お客様のデバイスにインストールすることができます。
- Web コンテンツ機能。本ソフトウェアには、関連するコンテンツをマイクロソフトから取得し、お客様に提供する機能が含まれます。これらの機能の例としては、クリップ アート、テンプレート、オンライン トレーニング、オンライン アシスタンス、および Appshelp が挙げられます。お客様は、これらの機能を解除するか、または使用しないことを選択することができます。
- デジタル証明書。本ソフトウェアは x.509 バージョン 3 デジタル証明書を使用します。これらのデジタル証明書によってお互いに情報を送信してユーザーの身元を特定したり、お客様はかかるデジタル証明書を使用して情報を暗号化したりすることができます。本ソフトウェアは、インターネットを経由して証明書を取得し、証明書失効リストを更新します。
- Auto Root 更新。Auto Root 更新機能は、信頼できる証明機関のリストを更新するものです。この機能は無効にすることができます。
- Windows Media デジタル著作権管理。コンテンツ権利者は、著作権を含む知的財産を保護する目的で、Windows Media デジタル著作権管理技術 (WMDRM) を使用しています。本ソフトウェアおよび第三者のソフトウェアは、WMDRM が保護するコンテンツを再生、複製する際に WMDRM を使用します。本ソ

ソフトウェアがコンテンツを保護できない場合、コンテンツ権利者がマイクロソフトに対して、保護されたコンテンツを WMDRM で再生または複製する本ソフトウェアの機能を無効にするよう要求することがあります。無効にされた場合も、その他のコンテンツは影響を受けません。お客様は、保護されたコンテンツのライセンスをダウンロードすることでマイクロソフトがライセンスに失効リストを含めることに同意したものとします。コンテンツ権利者は、お客様がコンテンツ権利者のコンテンツにアクセスする前に、WMDRM のアップグレードを要請することがあります。WMDRM を含むマイクロソフト ソフトウェアでは、アップグレードに先立ってお客様の同意が求められます。アップグレードを行わない場合、お客様はアップグレードが必要なコンテンツにアクセスできません。お客様は、インターネットに接続する WMDRM 機能を解除することができます。この機能が解除されている場合でも、正規のライセンスを取得しているコンテンツを再生することは可能です。

- Windows Media Player。お客様が Windows Media Player を使用すると、マイクロソフトに対して以下が確認されます。
- お客様の地域において利用可能なオンライン音楽サービス
- Windows Media Player の最新バージョン
- コーデック（コンテンツの再生に必要なコーデックがデバイスにない場合）

この機能は無効にすることができます。詳細については、go.microsoft.com/fwlink/?LinkId=51331 をご参照ください。

- アップグレード時における悪質なソフトウェアの削除 / 除去。本ソフトウェアのインストール前に、www.support.microsoft.com/?kbid=890830 に掲載されている特定の悪質なソフトウェア（「マルウェア」といいます）がお客様のデバイスにインストールされていないかが自動的に確認され、お客様のデバイスから削除されます。お客様のデバイスでのマルウェアの確認時に、検出されたすべてのマルウェアまたはマルウェア確認中に発生したエラーに関する報告がマイクロソフトに送信されます。この報告には、お客

様を識別するための情報は一切含まれません。お客様は、本ソフトウェアのマルウェア報告機能を www.support.microsoft.com/?kbid=890830 に掲載されている手順に従って無効にすることができます。

- ネットワーク認識。ネットワーク トラフィックのパッシブ モニタリングまたはアクティブ DNS（または HTTP）クエリにより、システムがネットワークに接続されているかどうかが判別されます。このクエリでは、ルーティングのための標準的な TCP/IP 情報または DNS 情報の送信のみを行います。お客様は、レジストリ設定により、このアクティブ クエリ機能を解除することができます。
- Windows タイム サービス。このサービスは、www.time.windows.com と週に 1 回同期することで、お客様のデバイスの時刻を正確に設定するものです。接続には標準の NTP プロトコルを使用します。
- 検索候補サービス。Internet Explorer でクイック検索ボックスを使用するか、またはアドレス バーで検索用語の前に疑問符 (?) を入力して検索クエリを入力すると、入力に応じた検索候補が表示されます（ご使用の検索プロバイダーでサポートされている場合）。クイック検索ボックスに入力したすべての語、またはアドレス バーに入力した疑問符 (?) より後ろにあるすべての語は、入力と同時に検索プロバイダーに送信されます。また、Enter キーを押すか、または [検索] ボタンをクリックすると、クイック検索ボックスまたはアドレス バーにあるすべてのテキストが検索プロバイダーに送信されます。お客様がマイクロソフトの検索プロバイダーを使用する場合、送信される情報の使用は「マイクロソフト オンライン プライバシーに関する声明」に準拠するものとします。この声明は、go.microsoft.com/fwlink/?linkid=31493 に掲載されています。お客様が第三者の検索プロバイダーを使用する場合、送信される情報の使用は第三者のプライバシー ポリシーに準拠するものとします。お客様はいつでも検索候補の表示をオフにすることができます。これを行うには、Internet Explorer の [ツール] メニューにある [アドオンの管理] を使用します。検索候補サービスの詳細については、go.microsoft.com/fwlink/?linkid=128106 をご参照ください。

- 赤外線送信 / 受信機のアップデートの了承。 本ソフトウェアには、一部の Media Center ベースの製品と共に出荷される赤外線送信 / 受信機の正常動作を保証するためのテクノロジーが含まれている場合があります。お客様は、本ソフトウェアがこのデバイスのファームウェアをアップデートすることに同意されたものとしします。
- Media Center オンライン プロモーション。 お客様が本ソフトウェアの Media Center 機能を使用してインターネットベースのコンテンツまたはその他のインターネットベースのサービスにアクセスした場合、かかるサービスは本ソフトウェアから以下の情報を取得し、お客様が特定の宣伝サービスを受け取り、受け入れ、および使用できるようにします。
 - お客様のインターネット プロトコル アドレス、使用しているオペレーティング システムおよびブラウザの種類、ならびに使用している本ソフトウェアの名称およびバージョンなどの特定のデバイス情報
 - 要求したコンテンツ
 - 本ソフトウェアをインストールしたデバイスの言語コード
 - お客様は、Media Center 機能を使用してかかるサービスに接続することにより、これらの情報の収集および使用に同意されたものとしします。
- メディア再生機能の更新。 本デバイス上の本ソフトウェアには、MSCORP Media Playback Update サーバーから更新プログラムを直接受け取るメディア再生機能が含まれている場合があります。お客様の製造業者がアクティベーションを実行している場合、これらの更新プログラムはお客様に通知することなくダウンロードおよびインストールが行われます。製造業者は、これらの更新プログラムがお客様のデバイス上で確実に動作するようにする責任を負います。
- Windows Update Agent。 本デバイス上の本ソフトウェアには、Windows Update Agent (以下「WUA」といいます) が含まれています。この機能を使用すると、お客様のデバイスで MSCORP Windows Update サーバーから直接、または必要なサーバー コンポーネントがインストールされているサーバーおよび Microsoft Windows Update サーバーから Windows 更新プ

ログラムにアクセスできます。本ソフトウェアの Windows Update サービス (使用している場合) を適切に機能させるために、Windows Update サービスの更新またはダウンロードが適宜必要になり、お客様に通知することなくダウンロードとインストールが行われます。本ライセンス条項または Windows 更新プログラムに付属するライセンス条項の他の免責条項を制限することなく、お客様は、お客様のデバイスにインストールするかまたはインストールしようとする任意の Windows 更新プログラムに関して、Microsoft Corporation またはその関連会社からいかなる保証も提供されないことを認め、同意するものとしします。

b. 情報の使用。 マイクロソフトでは、ソフトウェアの改善およびサービスの向上を目的として、デバイスの情報、エラー報告、およびマルウェア報告を使用することがあります。また、ハードウェア ベンダーやソフトウェア ベンダーなど、他の企業と情報を共有する場合があります。これらの第三者は、マイクロソフト製ソフトウェアと連携して動作する自社製品の改良のため、この情報を使用することがあります。

c. インターネットベースのサービスの不正使用。 お客様は、これらのサービスに損害を及ぼす可能性のある方法、または第三者によるこれらのサービスの使用を妨げる可能性のある方法で、これらのサービスを使用することはできません。また、サービス、データ、アカウント、またはネットワークへの不正アクセスを試みるためにこれらのサービスを使用することは一切禁じられています。

7. 製品サポート。 サポート オプションについては、ティアック株式会社にお問い合わせください。その際、デバイスと共に提供されるサポート番号をお知らせください。

8. MICROSOFT .NET のベンチマーク テスト。 本ソフトウェアは、.NET Framework のコンポーネント (以下「.NET コンポーネント」といいます) を 1 つ以上含んでいます。お客様は、これらのコンポーネントの内部ベンチマーク テストを実施することができます。お客様は、go.microsoft.com/fwlink/?LinkID=66406 に掲載されている条件に従うことを条件に、これらのコンポーネントのベンチマーク テストの結果を開示できます。

マイクロソフトと別途の合意がある場合でも、お

お客様が当該ベンチマーク テストの結果を開示した場合、マイクロソフトは、go.microsoft.com/fwlink/?LinkID=66406 に掲載されている条件と同じ条件に従うことを条件に、該当する .NET コンポーネントと競合するお客様の製品についてマイクロソフトが実施したベンチマーク テストの結果を開示する権利を有します。

9. **バックアップ用の複製。**お客様は、本ソフトウェアのバックアップ用の複製を 1 部作成することができます。バックアップ用の複製は、お客様が本ソフトウェアを、デバイスに再インストールする場合に限り使用することができます。
10. **ドキュメント。**お客様のデバイスまたは内部ネットワークに有効なアクセス権を有する者は、お客様の内部使用目的に限り、ドキュメントを複製して使用することができます。
11. **ライセンス証明書 (「PROOF OF LICENSE」または「POL」)。**お客様が本ソフトウェアをデバイスにインストールされた状態、または CD-ROM またはその他のメディアで入手された場合、本ソフトウェアのライセンスが正当に取得されたものであることは、正規の Certificate of Authenticity ラベルが正規の本ソフトウェアの複製に付属していることにより識別することができます。ラベルが有効であるためには、このラベルがデバイスに貼付、あるいは ティアック株式会社の本ソフトウェア梱包に貼付または含まれていなければなりません。ラベルが本ソフトウェアの梱包とは別に提供されたものである場合、そのラベルは無効です。お客様が本ソフトウェアのライセンスを取得していることを証明するため、ラベルが貼付されたデバイスもしくは梱包材を保管してください。正規のマイクロソフト ソフトウェアを識別する方法については、www.microsoft.com/resources/howtotell/ja/default.mspx をご参照ください。
12. **第三者への譲渡。**本ソフトウェアは、デバイス、Certificate of Authenticity ラベル、および本ライセンス条項が付属している場合にのみ直接第三者に譲渡することができます。譲渡の前に、本ソフトウェアの譲受者は本ライセンス条項が本ソフトウェアの譲渡および使用に適用されることに同意しなければなりません。お客様は、バックアップ用の複製を含む本ソフトウェアの複製を保持することはできません。
13. **H.264/AVC 規格、VC-1 規格、MPEG-4 規格、および MPEG-2 規格に関する注意。**本ソフトウェ

アには、H.264/AVC、VC-1、MPEG-4 Part 2、および MPEG-2 画像圧縮テクノロジーが含まれていることがあります。本ソフトウェアにこれらの画像圧縮テクノロジーが含まれている場合、MPEG LA, L.L.C. により以下の注意書きを表示することが義務付けられています。

本製品は、消費者による個人使用および非商業的使用を前提とし、「AVC PATENT PORTFOLIO LICENSE」、「VC-1 PATENT PORTFOLIO LICENSE」、「MPEG-4 PART 2 VISUAL PATENT PORTFOLIO LICENSE」、「MPEG-2 VIDEO PATENT PORTFOLIO LICENSE」のいずれか 1 つ以上に基いて次の用途に限ってライセンスされています。(i) 上記の規格に従ってビデオをエンコードすること (以下「ビデオ規格」といいます)、または (ii) 個人使用および非商業的活動に従事する消費者がエンコードしたビデオをデコードする、もしくは、かかる特許ポートフォリオ ライセンスに基づいてビデオを提供するライセンスを有するビデオ プロバイダーから取得したビデオをデコードすること。本ライセンスは、本製品と共に単一の製品に含まれているかどうかにかかわらず、他の製品に適用されることはありません。その他の用途については、明示か黙示かを問わず、いかなるライセンスも許諾されません。詳細情報については、MPEG LA, L.L.C. から入手できます。[WWW.MPEGLA.COM](https://www.MPEGLA.COM) をご参照ください。

14. **MP3 オーディオ規格に関する注意。**本ソフトウェアには、ISO/IEC 11172-3 および ISO/IEC 13818-3 に規定されている MP3 オーディオ エンコーディングおよびデコーディング テクノロジーが含まれています。本ソフトウェアは、商業的製品またはサービスにおいて実装または頒布するためにライセンスされるものではありません。
15. **非フォールト トレラント。**本ソフトウェアは、フォールト トレラントではありません。ティアック株式会社は、本ソフトウェアをデバイスにインストールしており、本ソフトウェアのデバイス上での動作に責任を負うものとしします。
16. **使用制限。**マイクロソフト ソフトウェアは、フェール セーフ性能が不要なシステム用に設計されました。お客様は、本ソフトウェアの誤動作があった場合に人身傷害または死亡の予測できるリスクをもたらすデバイスまたはシステムで、マイクロソフト ソフトウェアを使用することはできません。これには、核施設、航空機のナビゲーションまたは通信システム、航空交通管制の操作が含まれます。

17. 本ソフトウェアの無保証。本ソフトウェアは、現状有姿のまま瑕疵を問わない条件で提供されます。本ソフトウェアの使用に伴うあらゆる危険は、お客様の負担とします。マイクロソフトは、明示的な瑕疵担保責任または保証責任を一切負いません。デバイスまたは本ソフトウェアに関してお客様が受けている保証は、マイクロソフトまたはその関連会社から与えられるものではなく、マイクロソフトまたはその関連会社がその保証による拘束を受けることはありません。法律上許容される最大限において、商品性、特定目的に対する適合性、侵害の不存在に関する黙示の保証について、ティアック株式会社およびマイクロソフトは一切責任を負いません。

18. 責任の制限。マイクロソフトおよびその関連会社の責任は、250 米ドル (U.S. \$250.00) を上限とする直接損害に限定されます。その他の損害（派生的損害、逸失利益、特別損害、間接損害、および付随的損害を含みますがこれらに限定されません）に関しては、一切責任を負いません。

この制限は、以下に適用されるものとします。

- 本ソフトウェア、サービス、第三者のインターネットのサイト上のコンテンツ（コードを含みます）、または第三者のプログラムに関連した事項
- 契約違反、保証違反、厳格責任、過失、または不法行為等の請求（適用される法令により認められている範囲において）

この制限は、マイクロソフトが損害の可能性を認識し得た場合にも適用されます。また、一部の国では付随的損害および派生的損害の免責、または責任の制限が認められないため、上記の制限事項が適用されない場合があります。

19. 輸出規制。本ソフトウェアは米国および日本国の輸出に関する規制の対象となります。お客様は、本ソフトウェアに適用されるすべての国内法および国際法（輸出対象国、エンド ユーザーおよびエンド ユーザーによる使用に関する制限を含みます）を遵守しなければなりません。詳細については www.microsoft.com/japan/exporting をご参照ください。

20. 完全合意。本ライセンス条項、追加条項（本ソフトウェアに付属し、当該条項の一部または全部を置換または変更する印刷されたライセンス条項を含む）、ならびに追加ソフトウェア、更新プログラム、インターネットベースのサービス、およびサポート サービスに関する使用条件は、本ソフト

ウェアおよびサポート サービスについてのお客様とマイクロソフトとの間の完全なる合意です。

21. 準拠法

- a. 日本。お客様が本ソフトウェアを日本国内で入手された場合、本ライセンス条項は日本法に準拠するものとします。
- b. 米国。お客様が本ソフトウェアを米国内で入手された場合、抵触法にかかわらず、本ライセンス条項の解釈および契約違反への主張は、米国ワシントン州法に準拠するものとします。消費者保護法、公正取引法、および違法行為を含みますがこれに限定されない他の主張については、お客様が所在する地域の法律に準拠します。
- c. 日本および米国以外。お客様が本ソフトウェアを日本国および米国以外の国で入手された場合、本ライセンス条項は適用される地域法に準拠するものとします。

22. 第三者のプログラム。マイクロソフトは、本ソフトウェアに含まれる第三者のソフトウェアの著作権表示を以下に示します。これらの表示は、それぞれの著作権保有者によって義務付けられており、本ソフトウェアを使用するためのお客様のライセンスを変更するものではありません。

本ソフトウェアの特定の部分は、Spider Systems ® Limited の著作物に一部基づいています。マイクロソフトは、本製品に Spider Systems Limited のソフトウェアを含めているため、かかるソフトウェアに付随した以下のテキストを記載することを義務付けられています。

Copyright 1987 Spider Systems Limited

Copyright 1988 Spider Systems Limited

Copyright 1990 Spider Systems Limited

本ソフトウェアの特定の部分は、Seagate Software の著作物に一部基づいています。

本ソフトウェアの特定の部分は、ACE*COMM Corp. の著作物に一部基づいています。マイクロソフトは、本製品に ACE*COMM Corp. のソフトウェアを含めているため、かかるソフトウェアに付随した以下のテキストを記載することを義務付けられています。

Copyright 1995-1997 ACE*COMM Corp

本ソフトウェアの特定の部分は、Sam Leffler 氏および Silicon Graphics, Inc. の著作物に一部基づいています。マイクロソフトは、本製品に Sam Leffler 氏および Silicon Graphics のソフトウェアを含めている

ため、かかるソフトウェアに付随した以下のテキストを記載することを義務付けられています。

Copyright © 1988-1997 Sam Leffler

Copyright © 1991-1997 Silicon Graphics, Inc.

本ソフトウェアおよびそのドキュメントを、その目的を問わず、

使用、改変、頒布、および販売することをお無償で許可するものとします。

ただし、(i) 本ソフトウェアおよび関連ドキュメントのあらゆる複製に

上記の著作権表示とこの許可表示を記載すること、および (ii) Sam Leffler および Silicon Graphics の書面による個別かつ事前の許可なく、Sam Leffler および Silicon Graphics の名称を本ソフトウェアに関連する

任意の広告または宣伝で使用できないこと、を条件とします。

本ソフトウェアは、現状有姿のまま、明示、黙示を問わず、

商品性または特定目的に対する適合性の保証を含みますがこれに限定されない、

何らの保証もない条件で提供されます。

SAM LEFFLER または SILICON GRAPHICS は、本ソフトウェアの使用または性能に

起因または関連する、あらゆる特別損害、付随的損害、または派生的損害、

もしくは使用不能、データの損失または利益の逸失から生じる一切の損害に関し、

損害の可能性について知らされていたかどうかにかかわらず、いかなる責任の法理においても、

一切責任を負いません。

Portions Copyright © 1998 PictureTel Corporation

本ソフトウェアの特定の部分は、Highground Systems の著作物に一部基づいています。マイクロソフトは、本製品に Highground Systems のソフトウェアを含めているため、かかるソフトウェアに付随した以下のテキストを記載することを義務付けられています。

Copyright © 1996-1999 Highground Systems

Windows 7 には、Info-ZIP グループの圧縮コードが

組み込まれています。このコードの使用によって追加の料金または費用がかかることはなく、元の圧縮ソース コードは、インターネットで www.info-zip.org/ または ftp://ftp.info-zip.org/pub/infozip/src/ から無償で入手できます。

Portions Copyright © 2000 SRS Labs, Inc

本製品には、'zlib' 汎用圧縮ライブラリのソフトウェアが含まれています。

本ソフトウェアの特定の部分は、ScanSoft, Inc. の著作物に一部基づいています。マイクロソフトは、本製品に ScanSoft, Inc. のソフトウェアを含めているため、かかるソフトウェアに付随した以下のテキストを記載することを義務付けられています。

TextBridge® OCR © by ScanSoft, Inc.

本ソフトウェアの特定の部分は、南カリフォルニア大学の著作物に一部基づいています。マイクロソフトは、本製品に南カリフォルニア大学のソフトウェアを含めているため、かかるソフトウェアに付随した以下のテキストを記載することを義務付けられています。

Copyright © 1996 by the University of Southern California

All rights reserved.

本ソフトウェアおよびそのドキュメントを、その目的を問わず、ソースおよびバイナリ形式で使用、複製、改変、および頒布することをお無償で許可するものとします。ただし、あらゆる複製に上記の著作権表示とこの許可表示の両方を記載すること、およびかかる頒布と使用に関連する任意のドキュメント、広告物、その他の資料において、本ソフトウェアが南カリフォルニア大学情報科学研究所によって一部開発されたことに同意すること、を条件とします。南カリフォルニア大学の名称は、書面による個別かつ事前の許可なく、本ソフトウェアから派生する製品の推奨または販売促進を行うために使用することはできません。

南カリフォルニア大学は、本ソフトウェアの適合性について、その目的を問わず、何らの表明を行うものではありません。本ソフトウェアは、現状有姿のまま、明示、黙示を問わず、商品性および特定目的に対する適合性の黙示の保証を含みますがこれに限定されない、何らの保証もない条件で提供されます。

その他の著作権が本ソフトウェアの一部に適用されることがあり、該当する場合はそのように記載されます。

本ソフトウェアの特定の部分は、James Kanze 氏の著作物に一部基づいています。マイクロソフトは、本製品に James Kanze 氏のソフトウェアを含めているため、かかるソフトウェアに付随した以下のテキストを記載することを義務付けられています。

著作権および許可に関する表示

All rights reserved.

本ソフトウェアおよび関連ドキュメント ファイル（以下「本ソフトウェア」といいます）の複製を取得する者に対し、制限を負うことなく、本ソフトウェアを使用、複製、公開、頒布、および本ソフトウェアの複製を販売する権利、ならびに本ソフトウェアの提供を受ける者に同様の取り扱いを許可する権利を含みますがこれらに限定されない本ソフトウェアの取り扱いを無償で許可するものとします。ただし、上記の著作権表示およびこの許可表示の両方を付属ドキュメントに記載することを条件とします。また、改変したソフトウェアでは、接頭辞「GB_」を他の接頭辞に変更し、インクルード ファイルのディレクトリ名（この頒布では「gb」）も変更するという条件の下で、本ソフトウェアのいかなる改変も行うことを許可するものとします。

本ソフトウェアは、現状有姿のまま、明示、黙示を問わず、商品性、特定目的に対する適合性、および第三者の権利侵害の不存在の保証を含みますがこれに限定されない、何らの保証もない条件で提供されます。この表示に記載されている著作権保有者は、本ソフトウェアの使用または性能に起因または関連する、賠償請求、あらゆる特別損害、間接損害、または派生的損害、もしくは使用不能、データの損失または利益の逸失から生じる一切の損害に関し、契約行為、過失、またはその他の不法行為の有無にかかわらず、一切責任を負いません。

この表示に記載されている場合を除き、著作権保有者の書面による事前の承認なく、著作権保有者の名称を、本ソフトウェアの広告、もしくは販売、使用、またはその他の取り扱いの促進に使用することはできないものとします。

本製品には、Cisco ISAKMP Services のソフトウェアが含まれています。

本ソフトウェアの特定の部分は、RSA Data Security, Inc. の著作物に一部基づいています。マイクロソフトは、本製品に RSA Data Security, Inc. のソフトウェアを含めているため、かかるソフトウェアに付随した以下のテキストを記載することを義務付けられています。

Copyright © 1990, RSA Data Security, Inc.
All rights reserved.

本ソフトウェアまたはこの機能を記載または参照するすべての資料に、当該ソフトウェアまたは機能が「RSA Data Security, Inc. による MD5 メッセージ ダイジェスト アルゴリズム」であると明記することを条件に、本ソフトウェアを複製および使用するライセンスを付与するものとします。派生品についても、当該派生品を記載または参照するすべての資料に、当該派生品が「RSA Data Security, Inc. による MD5 メッセージ ダイジェスト アルゴリズムから派生した」ことを明記することを条件に、作成および使用するライセンスを付与するものとします。

RSA Data Security, Inc. は、本ソフトウェアの商品性または本ソフトウェアの適合性について、その目的を問わず、何らの表明を行うものではありません。本ソフトウェアは、現状有姿のまま、明示、黙示を問わず何らの保証もない条件で提供されます。

これらの表示は、このドキュメントおよび本ソフトウェアのいかなる部分の複製においても保持されなくてはなりません。

本ソフトウェアの特定の部分は、OpenVision Technologies, Inc. の著作物に一部基づいています。マイクロソフトは、本製品に OpenVision Technologies, Inc. のソフトウェアを含めているため、かかるソフトウェアに付随した以下のテキストを記載することを義務付けられています。

Copyright 1993 by OpenVision Technologies, Inc.

本ソフトウェアおよびそのドキュメントを、その目的を問わず、使用、複製、改変、頒布、および販売することを無償で許可するものとします。ただし、あらゆる複製に上記の著作権表示を記載すること、かかる著作権表示とこの許可表示の両方を付属ドキュメントに記載すること、および書面による個別かつ事前の許可なく、本ソフトウェアの頒布に関する広告または宣伝において

OpenVision の名称を使用しないこと、を条件とします。OpenVision は、本ソフトウェアの適合性について、その目的を問わず、何らの表明を行うものではありません。本ソフトウェアは、現状有姿のまま、明示、黙示を問わず何らの保証もない条件で提供されます。

OPENVISION は、商品性および適合性についてのあらゆる黙示の保証を含め、本ソフトウェアに関する保証を一切行いません。また、OPENVISION は、本ソフトウェアの使用または性能に起因または関連する、あらゆる特別損害、間接損害、または派生的損害、もしくは使用不能、データの損失または利益の逸失から生じる一切の損害に関し、契約行為、過失、またはその他の不法行為の有無にかかわらず、一切責任を負いません。

本ソフトウェアの特定の部分は、Regents of The University of Michigan の著作物に一部基づいています。マイクロソフトは、本製品に Regents of The University of Michigan のソフトウェアを含めているため、かかるソフトウェアに付随した以下のテキストを記載することを義務付けられています。

Copyright © 1995, 1996 Regents of The University of Michigan.

All Rights Reserved.

本ソフトウェアおよびそのドキュメントを、その目的を問わず、使用、複製、改変、および頒布することをおおむね許可するものとします。ただし、あらゆる複製に上記の著作権表示を記載すること、かかる著作権表示とこの許可表示の両方を付随ドキュメントに記載すること、および書面による個別かつ事前の許可なく、本ソフトウェアの頒布に関する広告または宣伝においてミシガン大学の名称を使用しないこと、を条件とします。本ソフトウェアは、現状有姿のまま、明示、黙示を問わず何らの保証もない条件で提供されます。

Copyright © 1993, 1994 Regents of the University of Michigan.

All rights reserved.

ソースおよびバイナリ形式での再頒布および使用は、この表示を保持すること、およびミシガン大学アナーバー校に対してしかるべき功績を認めることを条件に許可されます。ミシガン大学アナーバー校の名称は、書面による個別かつ事前の許可

なく、本ソフトウェアから派生する製品の推奨または販売促進を行うために使用することはできません。本ソフトウェアは、現状有姿のまま、明示、黙示を問わず何らの保証もない条件で提供されます。

本ソフトウェアの特定の部分は、マサチューセッツ工科大学の著作物に一部基づいています。マイクロソフトは、本製品にマサチューセッツ工科大学のソフトウェアを含めているため、かかるソフトウェアに付随した以下のテキストを記載することを義務付けられています。

Copyright 1989, 1990 by the Massachusetts Institute of Technology. All Rights Reserved.

本ソフトウェアをアメリカ合衆国から輸出するには、米国政府からの特定のライセンスが必要な場合があります。かかるライセンスは、輸出を検討している個人または組織の責任において、輸出前に取得してください。

この制約の範囲内で、本ソフトウェアおよびそのドキュメントを、その目的を問わず、使用、複製、改変、および頒布することをおおむね許可するものとします。ただし、あらゆる複製に上記の著作権表示を記載すること、かかる著作権表示とこの許可表示の両方を付随ドキュメントに記載すること、

および書面による個別かつ事前の許可なく、本ソフトウェアの頒布に関する広告または宣伝において M.I.T. の名称を使用しないこと、を条件とします。M.I.T. は、本ソフトウェアの適合性について、その目的を問わず、何らの表明を行うものではありません。本ソフトウェアは、現状有姿のまま、明示、黙示を問わず何らの保証もない条件で提供されます。

本ソフトウェアは、米国法に基づいて、米国商務省からのライセンスなく、米国外に輸出することはできません。

Copyright 1994 by the Massachusetts Institute of Technology. All Rights Reserved.

本ソフトウェアをアメリカ合衆国から輸出するには、米国政府からの特定のライセンスが必要な場合があります。かかるライセンスは、輸出を検討している個人または組織の責任において、輸出前に取得してください。

この制約の範囲内で、本ソフトウェアおよびそのドキュメントを、その目的を問わず、使用、複製、

改変、および頒布することを無償で許可するものとします。ただし、あらゆる複製に上記の著作権表示を記載すること、かかる著作権表示とこの許可表示の両方を付属ドキュメントに記載すること、および書面による個別かつ事前の許可なく、本ソフトウェアの頒布に関する広告または宣伝において M.I.T. の名称を使用しないこと、を条件とします。M.I.T. は、本ソフトウェアの適合性について、その目的を問わず、何らの表明を行うものではありません。本ソフトウェアは、現状有姿のまま、明示、黙示を問わず何らの保証もない条件で提供されます。

本製品には、カリフォルニア大学バークレー校および同校の協力者によって開発されたソフトウェアが含まれています。

本ソフトウェアの特定の部分は、Northern Telecom からライセンスを取得した「Entrust」のセキュリティテクノロジーによる著作物に一部基づいています。

本ソフトウェアの特定の部分は、Hewlett-Packard Company の著作物に一部基づいています。マイクロソフトは、本製品に Hewlett-Packard Company のソフトウェアを含めているため、かかるソフトウェアに付随した以下のテキストを記載することを義務付けられています。

Copyright © 1994 Hewlett-Packard Company

本ソフトウェアおよびそのドキュメントを、その目的を問わず、使用、複製、改変、頒布、および販売することを無償で許可するものとします。ただし、あらゆる複製に上記の著作権表示を記載すること、およびかかる著作権表示とこの許可表示の両方を付属ドキュメントに記載すること、を条件とします。Hewlett-Packard Company および Microsoft Corporation は、本ソフトウェアの適合性について、その目的を問わず、何らの表明を行うものではありません。本ソフトウェアは、現状有姿のまま、明示、黙示を問わず何らの保証もない条件で提供されます。

本製品には、'libpng' PNG リファレンス ライブラリのソフトウェアが含まれています。

本ソフトウェアの特定の部分は、Autodesk, Inc. の著作物に一部基づいています。マイクロソフトは、本製品に Autodesk, Inc. のソフトウェアを含めているため、かかるソフトウェアに付随した以下のテキストを記載

することを義務付けられています。

© Copyright 1995 by Autodesk, Inc.

本ソフトウェアには、画像フィルター ソフトウェアが含まれています。本ソフトウェアは、Independent JPEG Group の著作物に一部基づいています。

本製品には、KS Waves Ltd. の「True Verb」テクノロジーが含まれています。

本ソフトウェアの特定の部分は、SGS-Thomson Microelectronics, Inc. の著作物に一部基づいています。マイクロソフトは、本製品に SGS-Thomson Microelectronics, Inc. のソフトウェアを含めているため、かかるソフトウェアに付随した以下のテキストを記載することを義務付けられています。

Copyright 1996 SGS-Thomson Microelectronics, Inc. All Rights Reserved

本ソフトウェアの特定の部分は、Unicode, Inc. の著作物に一部基づいています。マイクロソフトは、本製品に Unicode, Inc. のソフトウェアを含めているため、かかるソフトウェアに付随した以下のテキストを記載することを義務付けられています。

著作権および許可に関する表示

Copyright © 1991-2005 Unicode, Inc. All rights reserved. www.unicode.org/copyright.html に掲載されている使用条件に基づいて頒布されます。

Unicode データ ファイルおよび任意の関連ドキュメント（以下「データ ファイル」といいます）または Unicode ソフトウェアおよび任意の関連ドキュメント（以下「本ソフトウェア」といいます）の複製を取得する者に対し、制限を負うことなく、データ ファイルまたは本ソフトウェアを使用、複製、改変、結合、公開、頒布、およびデータ ファイルまたは本ソフトウェアの複製を販売する権利、ならびにデータ ファイルまたは本ソフトウェアの提供を受ける者に同様の取り扱いを許可する権利を含みますがこれらに限定されないデータ ファイルまたは本ソフトウェアの取り扱いを無償で許可するものとします。ただし、(a) 上記の著作権表示およびこの許可表示の両方をデータ ファイルまたは本ソフトウェアのすべての複製に記載すること、(b) 上記の著作権表示およびこの許可表示の両方を関連ドキュメントに記載すること、(c) 改変さ

れた各データ ファイルまたはソフトウェア、およびデータまたはソフトウェアが改変されたデータ ファイルまたは本ソフトウェアに関連するドキュメントにその旨の表示を明記すること、を条件とします。

データ ファイルおよび本ソフトウェアは、現状有姿のまま、明示、黙示を問わず、商品性、特定目的に対する適合性、および第三者の権利侵害の不存在の保証を含みますがこれに限定されない、何らの保証もない条件で提供されます。この表示に記載されている著作権保有者は、データ ファイルまたは本ソフトウェアの使用または性能に起因または関連する、賠償請求、あらゆる特別損害、間接損害、または派生的損害、もしくは使用不能、データの損失または利益の逸失から生じる一切の損害に関し、契約行為、過失、またはその他の不法行為の有無にかかわらず、一切責任を負いません。

この表示に記載されている場合を除き、著作権保有者の書面による事前の承認なく、著作権保有者の名称を、データ ファイルまたは本ソフトウェアの広告、もしくは販売、使用、またはその他の取り扱いの促進に使用することはできないものとします。

Combined PostScript Driver は、Adobe Systems Incorporated および Microsoft Corporation の共同開発プロセスの成果です。

本ソフトウェアの特定の部分は、Media Cybernetics の著作物に一部基づいています。マイクロソフトは、本製品に Media Cybernetics のソフトウェアを含めているため、かかるソフトウェアに付随した以下のテキストを記載することを義務付けられています。

HALO Image File Format Library © 1991-1992 Media Cybernetics, Inc.

本ソフトウェアの特定の部分は、Luigi Rizzo 氏の著作物に一部基づいています。マイクロソフトは、本製品に Luigi Rizzo 氏のソフトウェアを含めているため、かかるソフトウェアに付随した以下のテキストを記載することを義務付けられています。

© 1997-98 Luigi Rizzo (luigi@iet.unipi.it)

特定の部分は、Phil Karn 氏 (karn@ka9q.ampr.org)、Robert Morelos-Zaragoza 氏 (robert@spectra.eng.hawaii.edu)、および Hari Thirumoorthy 氏 (harit@spectra.eng.hawaii.edu) によって 1995 年 8 月に作成されたコードから派生したものです。

ソースおよびバイナリ形式で再頒布および使用することは、改変の有無にかかわらず、以下の条件を満たしている場合に許可されるものとします。

1. ソース コードを再頒布する場合は、上記の著作権表示、この条件の一覧、および以下の免責事項を保持しなければなりません。

2. バイナリ形式で再頒布する場合は、上記の著作権表示、この条件の一覧、および以下の免責事項を、頒布と共に提供されるドキュメントおよびその他の資料において複製しなければなりません。

本ソフトウェアは、著作者によって現状有姿のまま提供され、明示、黙示を問わず、商品性および特定目的に対する適合性の黙示の保証を含みますがこれに限定されない保証については一切拒否されます。著作者は、あらゆる直接損害、間接損害、付随的損害、特別損害、懲罰的損害、または派生的損害（代替物またはサービスの調達、使用不能、データの損失または利益の逸失、もしくは事業の中断を含みますがこれらに限定されません）に関しては、原因および責任の法理にかかわらず、本ソフトウェアの使用に何らかの形で起因する契約、厳格責任、または不法行為（過失その他を含みます）の有無を問わず、かかる損害の可能性について知らされていた場合であっても、一切責任を負わないものとします。

本ソフトウェアの特定の部分は、W3C の著作物に一部基づいています。マイクロソフトは、本製品に W3C のソフトウェアを含めているため、かかるソフトウェアに付随した以下のテキストを記載することを義務付けられています。

W3C ® ソフトウェアに関する表示およびライセンス

www.w3.org/Consortium/Legal/2002/copyright-software-20021231

この著作物（含まれているソフトウェア、README などのドキュメント、またはその他の関連物）は、以下のライセンスに基づいて、著作権保有者によって提供されています。お客様（ライセンシー）は、この著作物を取得、使用、および複製することにより、以下の条件を読んで理解しており、当該条項を遵守することに同意されるものとします。

本ソフトウェアおよびそのドキュメントを、改変の有無にかかわらず、その目的を問わず、複製、

改変、および頒布することを無償で許可するものとします。ただし、改変物を含む、本ソフトウェアおよびドキュメント、またはその部分のあらゆる複製に以下の条項を記載することを条件とします。

1. 再頒布物または派生品のユーザーから見える場所に、この表示の全文を記載するものとします。
2. 知的財産権に関する既存の免責事項、表示、または条件がある場合はそれを記載するものとします。存在しない場合は、再頒布コードまたは派生コードの本文内に、W3C ソフトウェアに関する概略表示を記載しなければなりません（ハイパーテキスト形式が推奨されますが、テキスト形式も許容されます）。
3. 日付の変更を含む、ファイルの変更または改変に関する表示を記載するものとします（派生元のコードの場所を示す URL を提示することを推奨します）。

本ソフトウェアおよびドキュメントは現状有姿のまま提供されるものであり、著作権保有者は、明示、黙示を問わず、商品性または特定目的に対する適合性についての保証、あるいは本ソフトウェアまたはドキュメントの使用により第三者の特許、著作権、商標、またはその他の権利を侵害しないことを含みますがこれらに限定されない一切の表明または保証を行いません。

著作権保有者は、本ソフトウェアまたはドキュメントの使用に起因する、あらゆる直接損害、間接損害、特別損害、または派生的損害について、一切責任を負わないものとします。

書面による個別かつ事前の許可なく、本ソフトウェアに関する広告または宣伝において著作権保有者の名称および商標を使用することはできません。本ソフトウェアおよび任意の関連ドキュメントにおける著作権に対する権原は、常に著作権保有者に留まります。

本ソフトウェアの特定の部分は、Sun Microsystems, Inc. の著作物に一部基づいています。マイクロソフトは、本製品に Sun Microsystems, Inc. のソフトウェアを含めているため、かかるソフトウェアに付随した以下のテキストを記載することを義務付けられています。

Sun RPC は、Sun Microsystems, Inc. の製品であり、この文言がすべてのテープ メディア、およびソフトウェア プログラムの全体または部分の一部として記載されることを条件に、使用に関

する制限なく提供されます。ユーザーは、無償で Sun RPC を複製または改変することができますが、ユーザーが開発した製品またはプログラムの一部とする場合を除いて、他者に使用許諾または頒布する権限を有しません。

SUN RPC は、現状有姿のまま、設計、商品性、および特定目的に対する適合性の保証、あるいは取引の過程、使用、または商慣行に起因する保証を含む、何らの保証もない条件で提供されます。

Sun RPC は、Sun Microsystems, Inc. によるサポート、および使用、修正、改変、または機能強化に関する支援の義務がない条件で提供されます。

SUN MICROSYSTEMS, INC. は、SUN RPC またはその一部による、著作権、企業秘密、または特許の侵害に関して一切責任を負わないものとします。

Sun Microsystems, Inc. は、Sun がかかる損害の可能性について知らされていた場合であっても、逸失収益または逸失利益、あるいはその他の特別損害、間接損害、および派生的損害について一切責任を負いません。

Sun Microsystems, Inc.

2550 Garcia Avenue

Mountain View, California 94043

Dolby Laboratories のライセンスに基づいて製造されています。「Dolby」およびダブル D 記号は Dolby Laboratories の商標です。Confidential unpublished works. Copyright 1992-1997 Dolby Laboratories. All rights reserved.

本ソフトウェアの特定の部分は、Andrei Alexandrescu 氏の著作物に一部基づいています。マイクロソフトは、本製品に Andrei Alexandrescu 氏のソフトウェアを含めているため、かかるソフトウェアに付随した以下のテキストを記載することを義務付けられています。

The Loki Library

Copyright © 2001 by Andrei Alexandrescu

このコードは以下の書籍に付属しています。

Alexandrescu, Andrei 著『Modern C++ Design: Generic Programming and Design Patterns Applied』Copyright © 2001. Addison-Wesley.

本ソフトウェアを、その目的を問わず、使用、複製、改変、頒布、および販売することをお無償で許可するものとします。ただし、あらゆる複製に上記の著作権表示を記載すること、およびかかる著作権表示とこの許可表示の両方を付属ドキュメントに記載すること、を条件とします。

著作者および Addison-Welley Longman は、本ソフトウェアの適合性について、その目的を問わず、何らの表明を行うものではありません。本ソフトウェアは、現状有姿のまま、明示、黙示を問わず何らの保証もない条件で提供されます。

Portions Copyright © 1995 by Jeffrey Richter

本ソフトウェアの特定の部分は、Distributed Management Task Force, Inc. (DMTF) の著作物に一部基づいています。マイクロソフトは、本製品に DMTF 仕様に基づくソフトウェアを含めているため、以下のテキストを記載することを義務付けられています。

Copyright © 2007 Distributed Management Task Force, Inc. (DMTF). All rights reserved.

本著作物の特定の部分は、Prentice-Hall から出版されている『The Draft Standard C++ Library』(Copyright © 1995 by P.J. Plauger) から派生しており、許可を得て使用しています。

本ソフトウェアの特定の部分は、Hewlett-Packard Company の著作物に一部基づいています。マイクロソフトは、本製品に Hewlett-Packard Company のソフトウェアを含めているため、かかるソフトウェアに付随した以下のテキストを記載することを義務付けられています。

Copyright © 2002, 2003 Hewlett-Packard Company.

本ソフトウェアに関する表示：

本ソフトウェアは、mpvtools.sourceforge.net から入手可能なソフトウェアに基づいています。

本ソフトウェアは、MPV と呼ばれる形式を処理します。MPV は、写真、ビデオ、および音楽コンテンツの収集およびマルチメディア プレイリスト、ならびに関連するメタデータを管理するためのオープン仕様であり、Optical Storage

Technology Association から無償で入手できます。MPV 仕様の詳細については、www.osta.org/mpv をご参照ください。

許可表示：

本ソフトウェアおよび関連ドキュメント ファイル（以下「本ソフトウェア」といいます）の複製を取得する者に対し、制限を負うことなく、本ソフトウェアを使用、複製、改変、結合、公開、頒布、再許諾、および本ソフトウェアの複製を販売する権利、ならびに本ソフトウェアの提供を受ける者に同様の取り扱いを許可する権利を含みますがこれらに限定されない本ソフトウェアの取り扱いをお無償で許可するものとします。ただし、以下の条件を前提とします。

上記の著作権表示、この許可表示、および上記の本ソフトウェアに関する表示を、本ソフトウェアのあらゆる複製または相当部分に記載するものとします。

本ソフトウェアは、現状有姿のまま、明示、黙示を問わず、商品性、特定目的に対する適合性、および権利侵害の不存在の保証を含みますがこれに限定されない、何らの保証もない条件で提供されます。著作者または著作権保有者は、本ソフトウェア、あるいは本ソフトウェアの使用またはその他の取り扱いに起因または関連する、

あらゆる賠償請求、損害、またはその他の責任に関し、契約行為またはその他の不法行為の有無にかかわらず、一切責任を負いません。

この表示に記載されている場合を除き、著作権保有者の書面による事前の承認なく、著作権保有者の名称を、本ソフトウェアの広告、もしくは販売、使用、またはその他の取り扱いの促進に使用することはできないものとします。

その他すべての商標は、各所有者の所有物です。

保証書の発行は、弊社 Web サイトの製品保証登録ページからも可能です。下記の製品保証登録ページからお客様の情報をご入力いただいた場合も、下記の無料修理規定の内容に沿って無料で修理を行います。ご入力いただいたお客様の情報は弊社にて管理し、登録完了後メールにて保証書を発行いたします。

ティアック 医用画像製品サイト 製品保証登録ページ <http://teacmv.jp/warranty.html>

保証書

型 名	MV-7000S		
シ リ ア ル	No.		
保 証 期 間	本 体	1 年	
お買上げ日	年 月 日		
お 客 様	お名前	様	
	〒		
	ご住所	電話	()

この保証書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。お買上げの日から左記期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示の上、取扱説明書に記載のティアック修理センターまたはお買上げの販売店に修理をご依頼ください。

お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

販売店	所在地・名称 (印)
	電話 ()

無料修理規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障が発生した場合には、弊社サービス部門が無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、本書をご提示の上、弊社サービス部門またはお買上げの販売店に修理をご依頼ください。商品を送付していただく場合の送付方法については、事前に弊社サービス部門にお問い合わせください。
3. ご転居等でお買上げの販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社サービス部門にご連絡ください。
4. 次の場合には保証期間内でも有料修理となります。
 - (1) ご使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
 - (2) お買上げ後の輸送・移動・落下などによる故障および損傷
 - (3) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷
 - (4) 接続している他の機器に起因する故障および損傷
 - (5) 特に苛酷な条件下において使用された場合の故障および損傷

- (6) メンテナンス
- (7) 本書の提示がない場合
- (8) 本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名 (印) の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
6. 本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

※ この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行しているもの (保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、弊社サービス部門にお問い合わせください。

ティアック株式会社

〒 206-8530 東京都多摩市落合 1-47

この製品に関するお問い合わせは

情報機器事業部 メディカルイメージングソリューション部 営業課
までご連絡ください。

お問い合わせ受付時間は、
土・日・祝日・弊社休業日を除く
9:30～12:00/13:00～17:00です。

営業課

〒 206-8530 東京都多摩市落合 1-47
電話：042-356-9160
FAX：042-356-9185

故障・修理や保守についてのお問い合わせは

ティアック修理センター
までご連絡ください。

お問い合わせ受付時間は、
土・日・祝日・弊社休業日を除く
9:30～17:00です。

ティアック修理センター 情報サービス部 サービス 1 課

〒 358-0026 埼玉県入間市小谷田 858
電話：04-2901-1037
FAX：04-2901-1042

● 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。